

# 4 衛 生 費

5,530,734,458円

項 目	ページ
保健衛生費	
保健衛生費……………	376
環境政策費……………	405
葬祭費……………	422
病院事業費……………	424
ワクチン接種費……………	424
清掃費	
廃棄物対策費……………	425



## 衛 生

衛生費には、市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費を計上している。

健康面としては、総合長期計画基本構想に即した「市民が元気で健康なまち」の理念達成のため、諸計画にもとづく健康や食育の施策を推進し、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の協力のもと、健康の増進に努めた。

母子保健事業では、母親学級をはじめ、乳幼児健診等の各種健康診査および相談事業等を実施した。

成人保健事業では、がん検診など各種健康診査を実施するとともにがん検診の受診率向上を目的とした「がん検診のおしらせ」の冊子を作成し、市内全戸に配布した。

予防接種事業では、10月から新たに法定予防接種に加わったロタウイルスワクチンの接種を開始した。

新型コロナウイルス感染症への対策として、以下の事業を行った。

- ・青梅市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催
- ・市内医療機関等に感染症対策支援給付金および防護服等の衛生用品の支給
- ・妊婦に対する新型コロナウイルスPCR検査費用の助成
- ・高齢者インフルエンザワクチン接種費用の全額助成
- ・子どものインフルエンザワクチン接種費用の一部助成
- ・育児パッケージ（クオカード）の贈呈
- ・ドライブスルー式新型コロナウイルスPCR検査運営費の補助
- ・青梅休日診療所における発熱外来に対応した仮設のプレハブ診療所の設置
- ・健康センター内トイレの修繕
- ・休日歯科診療所に治療用バキュームを新規購入
- ・発熱外来の機能を有した休日夜間診療所の建設工事着工

市民への新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備を行った。

生活環境では、たばこのポイ捨ておよび路上喫煙防止対策として、青梅駅前に喫煙所を新設した。

生物多様性地域戦略「青梅ひとと生き物イキイキプラン」にもとづき、市内に生息する外来生物の駆除を実施した。

墓地公園では、区画墓地の公募を実施したほか、近年の墓地を取り巻く社会情勢やニーズ等の変化に対応した樹林墓地の公募および改葬を実施した。

地球温暖化対策として、新たに電気自動車（プラグインハイブリット車含む）を26台購入し、既存の庁用自動車との入れ替えを実施した。

狂犬病予防注射では、市でのみ交付していた鑑札や注射済票を14の動物病院でも交付を可能としたことにより、飼い主の利便性の向上を図った。

スズメバチ等の巣の除去において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため防護服の貸出しを一時中止し、代替え措置としてハチの巣の除去費用の補助事業を実施した。

廃棄物対策については、ごみ情報紙および広報にごみ減量・リサイクルに関する話題などを掲載し、市民のごみ減量・資源リサイクルの取組促進と意識啓発を図り、循環型社会づくりへの啓発普及に努めた。

ごみ減量啓発事業については、マイバック持参によるレジ袋削減を図るため、新たにコンビニ等で使えるコンパクトタイプのエコバッグを作成した。

ごみ収集については、6つの言語に対応したリーフレット「青梅市のごみと資源物の分け方・出し方」を作成した。また、ごみの分別等の問い合わせに対応するAI（人工知能）を活用した分別案内サービスについて、内容の拡充を図り、粗大ごみ料金の案内を開始した。

リサイクルセンター施設については、定期的な点検および改修を行い、安全操業に努めた。新たな容器包装プラスチック処理ラインを設置するとともに、施設改修に向け長寿命化総合計画を策定した。また、環境および安全面から廃スプレー缶を外部処理に変更した。

し尿処理施設については、定期的な点検を行い、保全に努めた。

保 健 衛 生 費      2, 508, 317, 291円

○ 保 健 衛 生 費      ( 930, 594, 856円)      [健康課]

1 保健衛生事務経費

(1) 青梅市三師会事業補助金      0千円

一般社団法人青梅市医師会、青梅市歯科医師会、一般社団法人青梅市薬剤師会の会員によって組織する青梅市三師会が疾病予防、公衆衛生に関する啓発活動ならびに保健衛生知識の普及向上を目的として実施している「健康まつり」事業については、コロナ禍のため中止となった。そのため、青梅市三師会から事業に必要な補助金の交付申請がなかったことから、交付実績はなかった。

(2) 青梅市使用済み注射針回収事業補助金      100千円

一般社団法人青梅市薬剤師会が実施する使用済みの注射針回収事業に要する経費の一部を補助することにより、使用済み注射針の適正な処理を図った。

(3) 精神保健および精神障害者福祉に関する法律による入院同意

精神保健および精神障害者福祉に関する法律第33条の規定による医療保護入院のうち、市長が新たに入院することに同意した者は17人であり、退院等により解除となった者は23人であった。(年度末入院者数84人)

(4) 大気汚染健康障害者医療費助成事務      (単位：件)

区 分		件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	新 規	1	医 療 券 等 受 理 報 告 書	2
	更 新	282	医 療 券 再 交 付 申 請 書	4
変 更 届		65	合 計	354

## (5) 普通救命講習会

(単位：人)

区 分	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	合 計
実 施 日	5.26	9.10	12.16	3.23	
受 講 者 数	10	10	10	10	40

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため各回定員を30人から10人にした。

## 2 休日等診療経費

## (1) 休日および夜間診療

- ア 診療業務委託先 一般社団法人青梅市医師会
- イ 診療時間 休日診療 午前9時～午後5時  
休日夜間診療 午後5時～午後10時  
月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分  
土曜日 午後6時～午後9時
- ウ 場 所 健康センター内青梅休日診療所

## エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	診療日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 診 療	72	871	656	215	804	67	12.1
休日夜間診療	72	198	160	38	180	18	2.8
平日夜間診療	293	843	721	122	790	53	2.9
合 計		1,912	1,537	375	1,774	138	

※診療日数は実日数である。

## (2) 休日歯科診療

- ア 診療業務委託先 青梅市歯科医師会
- イ 診療時間 午前9時～午後5時
- ウ 場 所 健康センター内東青梅休日歯科診療所
- エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

診 療 日 数	患 者 数	患 者 数		市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外	
72	181	164	17	168	13	2.5

## (3) 休日および夜間保険調剤

- ア 調剤業務委託先 一般社団法人青梅市薬剤師会
- イ 調剤時間 休日調剤 午前9時～午後5時  
休日夜間調剤 午後5時～午後10時  
月曜日から金曜日 午後7時45分～午後10時45分  
土曜日 午後6時～午後9時
- ウ 場 所 健康センター内青梅休日薬局

(歳出 4 衛 生 費)

エ 調剤日数および患者数

(単位：日、人)

区 分	調剤 日数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
		大 人	小 人	市 民	市民以外		
休 日 調 剤	72	748	567	181	692	56	10.4
休日夜間調剤	72	222	161	61	199	23	3.1
平日夜間調剤	293	382	288	94	358	24	1.3
合 計		1,352	1,016	336	1,249	103	

※調剤日数は実日数である。

3 診療所経費

(1) 御岳山診療所

ア 診療業務委託先 医療法人社団 沢医会

イ 診 療 日 週 1 日

ウ 診 療 時 間 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

エ 診療日数および患者数

(単位：日、人)

診 療 日 数	患 者 数			市民・市民以外の別		1日当たり 平均患者数
	大 人	小 人	市 民	市民以外		
48	0	0	0	0	0	0

(2) その他診療所

診療所名	所 在 地	青梅市診療施設契約者
梅 郷 診 療 所	青梅市梅郷3-755-1	医師 江本 浩
沢 井 診 療 所	青梅市沢井2-850-3	医療法人社団 沢医会
小曾木診療所	青梅市小曾木4-2787-3	医療法人社団 長生会

4 献血推進経費

(1) 献血の実績

市内会場において1,139人の献血があり、これは目標数1,605人に対して71.0パーセントの達成率であった。

(2) 青梅市献血推進協議会

6月17日に書面開催した。

(3) 献血者への記念品贈呈

市内会場での献血者全員に、その都度記念品の贈呈を行った。

5 健康推進事業経費

(1) おうめ健康まつり

「第51回おうめ健康まつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## (2) 青梅市健康増進計画推進会議委員

氏名	選出区分	備考
◎ 大木幸子	学識経験者	杏林大学保健学部教授
○ 土田大介	医療保健関係者の代表	(一社)青梅市医師会副会長
本間祥継	〃	青梅市歯科医師会副会長
小嶋延章	〃	(一社)青梅市薬剤師会会長(12.1就任)
岩浪登	〃	(一社)青梅市薬剤師会会長(11.30退任)
小林啓子	〃	西多摩保健所地域保健推進担当課長
菊池一夫	企業関係者の代表	(株)クレアンスメアード代表取締役
宮口泉	市民団体の代表	青梅市自治会連合会副会長
野村欣史	〃	青梅市スポーツ推進委員協議会副会長

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、12月24日および3月30日に推進会議を书面開催した。

## (3) 自殺予防対策事業

## ア 講座の開催

(単位：人)

区分	講師	実施日	参加人数	会場
ゲートキーパー養成講座	臨床心理士	9.29	17	市役所
		12.19	17	
		3月中	中止	

※3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

## イ 啓発

広報おうめや市ホームページで自殺予防を周知した。さらに、平成23年9月に導入した、心の状態を自己認知できるメンタルチェックシステム「こころの体温計」について市民への周知を図り、引き続き活用した。

## ウ 橋梁自殺対策協議会

令和3年3月26日に協議会を书面開催し、東京都が実施する奥多摩橋高欄嵩上げ工事(令和2・3年度事業)の進捗状況について報告した。

## (4) 骨髄ドナー支援事業助成金

(単位：件、千円)

区分	件数	補助金額	備考
提供者	0	0	通院、入院、面接等に要した日数に提供者は2万円、事業所には1万円を乗じた金額
事業所	0	0	

なお、3月11日に市役所で実施した献血会場内の骨髄ドナー登録窓口では、受付者7人中3人がドナー登録を行った。

(歳出 4 衛生費)

## 6 子育て世代包括支援センター事業経費

### (1) 子育て世代包括支援センター

妊娠・出産・子育てについての総合窓口として、保健師や助産師等の資格を持つ「母子保健コーディネーター」が常駐し、妊娠期から子育て期の切れ目ない包括的な相談支援を行うことを目的に、妊娠・出産・育児に不安を抱える妊産婦に寄り添い、安心して育児ができるようサポート事業を実施した。

(単位：件)

妊婦面接数		妊婦		産婦		子育て期	
妊娠届出時	転入時	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
621	47	208	6	102	32	72	2

### (2) 産後ケア事業

出産後4か月以内の母子に対する心身のケアおよび育児のサポート等を行うことにより、産後も安心して子育てができるよう、宿泊型、日帰り型(デイケア)、訪問型のサービスを助産院に委託し事業を実施した。

(単位：人、回)

区分	出産対象 案内者数	相談者数	申請者数	利用回数
宿泊型	623	34	4	5
日帰り型(デイケア)	623	34	10	19
訪問型	623	34	10	31

## 7 出産・子育て応援事業経費

### (1) 育児パッケージの贈呈

妊娠期から出産期に合わせて、子育て家庭に対して保健師等が面接を実施し、育児パッケージの贈呈を行った。

贈呈対象件数 620件

### (2) 新型コロナウイルス感染予防対策にかかる育児パッケージの贈呈

妊婦の新型コロナウイルス感染を防ぐため、感染予防のために必要な物品等の購入に使用できる育児パッケージ(クオカード)の贈呈を行った。

贈呈対象件数 998件

### (3) 妊娠届出書の受理・母子健康手帳の交付

(単位：件)

区分	健康課	市民課 (夜間窓口)	出張所				合計
			梅郷	沢井	小曾木	成木	
妊娠届出書の受理	615	8	0	0	0	0	623
母子健康手帳の交付	621	8	0	0	0	0	629



## 8 妊婦健康診査経費

### (1) 母親（両親）学級

親となる心構えを伝え、安心して出産ができるよう、妊娠中の不安の解消を図るとともに、必要な指導および助言を行った。

区 分	実施回数	延参加者数	会場
プレママクラス（母性科）	年 5コース	118人	健康センター
体験コース	2回	10人	
両親コース（土曜日）	6回	96人	

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

### (2) 母親学級卒業生の保育園見学実習

例年、核家族化・少子化が進み、育児を学習する機会が少なくなっている母親の育児不安を軽減し「母親の育児力」を向上させるために、見学実習を2保育園（新町西保育園および青梅梨の木保育園）での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

### (3) 妊婦歯科健康診査

妊婦の歯科疾患の早期発見と、妊婦の歯科保健意識や健康観の向上を図った。

（単位：回、人、％）

回数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
4 (偶数月 第3木曜日)	42	39	92.9	異常なし	9
				要指導	5
				要歯石除去	15
				要治療	10

※4月および6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 妊婦健康診査

妊婦の健康管理に努め、妊婦および乳児の死亡率の低下を図るとともに、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等、母・児の障害予防を目的に東京都内医療機関に委託し、妊婦健康診査・超音波検査と子宮頸がん検査を実施した。

ア 妊婦健康診査

医療機関へ委託のため、随時受診

(単位：人、週)

区分	実施人員	平均受診週数	健診結果数		区分	実施人員	平均受診週数	健診結果数	
			異常なし	異常あり				異常なし	異常あり
1回目	581	10.8	異常なし	561	9回目	519	32.5	異常なし	500
			異常あり	20				異常あり	19
2回目	585	13.1	異常なし	579	10回目	510	34.4	異常なし	492
			異常あり	6				異常あり	18
3回目	576	16.7	異常なし	566	11回目	480	36.0	異常なし	461
			異常あり	10				異常あり	19
4回目	562	20.2	異常なし	549	12回目	435	37.0	異常なし	421
			異常あり	13				異常あり	14
5回目	567	23.7	異常なし	552	13回目	339	37.8	異常なし	329
			異常あり	15				異常あり	10
6回目	559	26.3	異常なし	536	14回目	218	38.7	異常なし	215
			異常あり	23				異常あり	3
7回目	541	28.6	異常なし	530	超音波	540	26.3	異常なし	536
			異常あり	11				その他	4
8回目	523	30.6	異常なし	496	子宮頸がん	524	11.0	異常なし	516
			異常あり	27				その他	8

イ 新生児聴覚検査

新生児の聴覚障害の早期発見および早期療育を図るため、東京都内医療機関に委託し、新生児聴覚検査を実施した。

(単位：人)

実施人員	総合判定		
	異常なし	耳鼻科受診必要	その他
506	499	7	0

ウ 里帰り等妊婦健康診査等

都外および助産所において、妊婦健康診査等を行った者に対して受診費助成事業を行った。

(単位：人)

区 分	申請人員	区 分	申請人員	区 分	申請人員
1 回目	9	7 回目	20	13 回目	37
2 回目	7	8 回目	30	14 回目	25
3 回目	8	9 回目	38	子宮頸がん	8
4 回目	9	10 回目	45	超音波	14
5 回目	9	11 回目	47	聴覚検査	32
6 回目	14	12 回目	43		

9 産婦健康診査経費

妊娠高血圧症候群や妊娠中の貧血の後遺症を早期発見し、適切な治療につなげることを目的に、3～4か月児健康診査と同時に産婦健康診査を実施した。

産婦健康診査

(単位：回、人、%)

回 数	対象人員	実施人員	受診率	助産師検査		
15 〔3～4 か月児 健診と 同時実施〕	576	545	94.6	尿 検 査	実施人員	47
					異常なし	41
					たんぱく・糖陽性	6
				血 圧 測 定	実施人員	31
					異常なし	29
					境界域	2
					低血圧	0
					高血圧	0

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

10 乳児健康診査経費

(1) 母親学級育児科

一般健康診査等により、運動発達遅滞または精神発達遅滞の疑いがもたれ、グループワーク等を通して子育て支援が必要と判断された乳児および保護者ならびに育児に不安や問題があると判断された保護者等を対象に、育児力の向上と育児不安の解消に努めた。

区 分	実施回数	延参加者数	場 所
ステップクラス（乳児）	年 3コース	98人	健康センター

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(歳出 4 衛生費)

(2) ブックスタート事業

生後4か月までの赤ちゃんを全戸訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施の際に、絵本を配付した。

対 象 件 数 (令和2年2月～令和3年1月出生分)	絵 本 配 付 数
618件	589冊

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 乳児健康診査

乳児を対象に、身体発育および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

(単位：回、人、%)

区 分	回 数	対象人員	実施人員	受診率	健 診 結 果	
3～4か月児 健康診査	15 〔原則 第1・3 水曜日〕	584	553	94.7	異常なし	349
					問題あり	101
					個別相談他	176
6～7か月児 健康診査	随 時 〔医療機関 委 託〕	636	636	100.0	異常なし	616
					問題あり	11
					疑 問	9
9～10か月児 健康診査	随 時 〔医療機関 委 託〕	636	612	96.2	異常なし	597
					問題あり	10
					疑 問	5

※健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

※4月～6月の3～4か月児健康診査は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(4) 新生児等訪問指導

感染予防に努め、妊産婦が安心して出産や育児に取り組むことができるよう支援するとともに、新生児の発育、栄養、生活環境、疾病・事故予防等の育児上重要な事項について家庭訪問のうえ適切な指導を行い、疾病や異常の早期発見・早期治療について助言した。

(単位：件)

妊 婦	産 婦	新 生 児	乳 児	幼 児	小学生以上	合 計
31	322	159	191	4	0	707

(5) 低体重児の届出

体重2,500グラム未満の乳児の出生に伴う届出を受理した。

受理件数 54件

(6) 未熟児の訪問指導

養育上必要があると認める未熟児に対し、訪問指導を行った。

訪問件数 8件

11 1歳6か月児健診経費

(1) 母親学級育児科

一般健康診査等により、運動発達遅滞または精神発達遅滞の疑いがもたれ、グループワーク等を通して子育て支援が必要と判断された乳児および保護者ならびに育児に不安や問題があると判断された保護者等を対象に、育児力の向上と育児不安の解消に努めた。

区 分	実 施 回 数	延 参 加 者 数	会 場
ステップクラス（幼児）	年 3 コース	84人	健康センター

(2) 乳幼児健康相談

(単位：回、件)

区 分	期 日	回 数	相 談 件 数 等	会 場
乳 幼 児 健 康 相 談	月 1 回	9	64	健康センター
心 理 相 談	月 4~5 回	49	289	
合 計		58	353	

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に、身体発育および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行うとともにむし歯予防等に関する指導を行った。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

(単位：回、人、%)

区 分	回 数	対 象 人 員	実 施 人 員	受 診 率	健 診 結 果	
1歳6か月児 健康診査	19 (毎月 第1・3 金曜日)	800	755	94.4	異常なし	637
					問題あり	71
					個別相談他	94
1歳6か月児 歯科健康診査	19 (毎月 第1・3 金曜日)	800	753	94.1	異常なし	249
					要指導	388
					要観察	109
					要医療	7

※健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。9月に臨時で1回健診日を設けた。

12 3歳児健康診査経費

3歳児健康診査

3歳児を対象に、身体発育および精神発達に必要な健康診査を実施することにより、適正な指導を行うとともにむし歯予防等に関する指導を行った。また、弱視の早期発見を目的に、視機能検査機器（フォトスクリーナー）を導入した。

なお、健康診査の結果、必要な方には経過観察健康診査等を紹介した。

（単位：回、人、％）

区 分	回 数	対象人員	実施人員	受診率	健 診 結 果	
3 歳 児 健 康 診 査	20  （ 毎 月 第 1・3 火 曜 日 ）	899	809	90.0	異 常 な し	637
					問 題 あ り	140
					個 別 相 談 他	163
3 歳 児 歯 科 健 康 診 査	（ 毎 月 第 1・3 火 曜 日 ）	899	808	89.9	異 常 な し	226
					要 指 導	310
					要 観 察	194
					要 医 療	78

※健診結果は同一人が複数項に該当する場合がある。

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。9月および10月に臨時で各1回健診日を設けた。

13 乳幼児経過観察・発達健康診査【乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費】

乳幼児健康診査等により、発育不全や運動発達遅滞等の疑いがある乳幼児に対して小児科および小児神経学の立場から、適切な指導等育児支援を行い、障害の早期発見や早期療育に努めた。

(1) 経過観察健康診査

（単位：回、人、％）

回 数	対象人員	実 施 人 員			健 診 結 果	
9  （ 毎 月 第 4 火 曜 日 ）	127	総 数	初 診 者	再 診 者	初 診 者 の 有 所 見 者	初 診 者 の 有 所 見 率
		104	35	69	2	5.7

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(2) 発達健康診査

（単位：回、人）

回 数	対 象 人 員	実 施 人 員			初 診 者 の 有 所 見 者 数	
		総 数	初 診 者	再 診 者		
9  （ 毎 月 第 2 火 曜 日 ）	54	46	27	19	異 常 な し	0
					精 密 健 診	0
					受 診 勸 奨	5
					他 機 関 管 理 中	11
					経 過 観 察	11
					一 時 的 指 導	0

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

14 精密健康診査【乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費・3歳児健康診査経費】

各種健康診査の結果、疾病等の疑いがある者に対し、より精密な健康診査を行うために受診票を交付し、専門医療機関を紹介した。

(1) 受診票発行状況 (単位：件)

妊 婦	新 生 児 聴 覚	乳 児	1歳6か月児	3 歳 児 一 般	3 歳 児 視 力	3 歳 児 聴 覚	合 計
0	0	10	6	7	49	0	72

(2) 受診結果 (単位：件)

異 常 な し	経 過 観 察	要 治 療	要 手 術	合 計
5	39	2	0	46

15 保健指導【子育て世代包括支援センター事業経費・妊婦健康診査経費・産婦健康診査経費・乳児健康診査経費・1歳6か月児健診経費・3歳児健康診査経費】

妊婦・産婦および乳幼児や小学生の保護者の相談に対し、各保健事業での面接相談または電話相談を実施した。

(単位：件)

区 分	面 接 相 談	電 話 相 談	計	会 場
妊 婦	158	162	320	健康センター
産 婦	295	738	1,033	
乳 児	1,165	1,127	2,292	
幼 児	1,831	329	2,160	
小学生以上	0	0	0	
合 計	3,449	2,356	5,805	

16 栄養・歯科指導【乳幼児歯科予防相談経費・母子栄養管理経費】

各種保健事業以外で妊産婦・乳幼児の栄養および歯科について管理栄養士または歯科衛生士による相談を実施した。

(単位：件)

区 分	面 接 相 談	電 話 相 談	計	会 場
栄 養 指 導	4	48	52	健康センター
歯 科 指 導	2	3	5	

17 乳幼児歯科予防・相談経費

(1) 幼児歯科健康診査（予防処置）

2歳児と2歳6か月児を対象に、歯科健康診査、指導および予防処置を行った。

（単位：回、人、％）

区 分	回 数	申込人員	実施人員	受診率	健診結果人数	
歯科健康診査	19 (毎月第2・4木曜日)	927	721	77.8	むし歯なし	705
					むし歯あり	16
予 防 処 置	18	893	713	79.8		
歯科健康教育	(毎月第2・4木曜日)	895	715	79.9		

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期した。

※延期した方は、歯科健診のみの日を設定し、予防処置は別日に行った。

(2) むし歯予防教室

歯が生え始める8か月から12か月までの乳児と母親等と、永久歯が生え始める5歳児を対象に、むし歯予防教室を実施した。

（単位：回、人）

区 分	実 施 回 数	参 加 者 数	会 場
むし歯予防教室	9	60	健康センター
5歳児むし歯予防教室	2	14	健康センター

※4月～6月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

18 母子栄養管理経費

(1) 食育事業

ア 親子食育講座（親子クッキング）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ 市民食育講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

ウ 食育推進会議

氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 田 中 弘 之	学 識 経 験 者	東京家政学院大学教授
○ 高 野 真	医療保健関係者の代表	青梅市歯科医師会副会長
清 水 省 吾	〃	西多摩保健所生活環境安全課長
大 越 文 男	農業関係者の代表	青梅市農業委員会委員 (7.19退任)
川 鍋 新 一	〃	〃 (7.20就任)
青 木 広	〃	西東京農業協同組合代表理事常務
嶋 崎 雄 幸	企業関係者の代表	嶋崎税務会計事務所副所長
照 沼 り か	〃	生活協同組合コープみらい 8ブロック委員会 ブロック委員
高 橋 章 次	教育関係の代表	市立第三中学校校長
中 村 ヤエ子	〃	二俣尾保育園園長
高 橋 悦 子	公 募 の 市 民	

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日 ◎は会長、○は副会長

なお、12月9日および3月25日に推進会議を书面開催した。



(2) 妊婦食教室・離乳食教室・幼児食教室

(単位：回、人)

区 分	妊婦食教室	離乳食教室		グランパ グランマ のための 離乳食教室	幼児食教室
		初 期	中 後 期		
対 象	妊 婦	4～5か月児 の保護者	6～9か月児 の保護者	祖 父 母	2～5歳児の 保 護 者
実 施 回 数	1	9	3	2	1
参 加 者 数	3	112	39	6	5

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、妊婦食教室は1回、離乳食教室初期は3回、離乳食教室中期は2回中止した。

(3) 夏休みこども料理教室

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

19 未熟児養育医療給付事業経費

(1) 未熟児養育医療給付

養育のため病院または診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療給付事業を行った。

認定件数 19件 給付額 4,488千円

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病医療受給者証の交付申請等の受付事務を行った。

(単位：件)

区 分	件 数	区 分	件 数
交 付 申 請	31	変 更 届	8
重 症 申 請	0	医 療 券 等 受 理 報 告 書	3
再 交 付 申 請	1	合 計	43

(3) 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付

小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活に必要な用具の給付を行った。

認定件数 1件 給付額 51千円

(歳出 4 衛 生 費)

20 成人保健事業経費

(1) 健康教育

生活習慣病の予防とその他の健康増進に関する正しい知識の普及啓発を図り、市民の健康の保持増進に資することを目的とし、健康教育事業を実施した。

ア 集団健康教育事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施日 (実施回数)	参加者数	会 場
糖尿病予防講座	講義	医師 管理栄養士	10.29	19	市 役 所
脂質異常症予防講座	講義	医師 管理栄養士	11.18	25	市 役 所
骨粗しょう症予防講座	講義	医師 管理栄養士	10.1	19	市 役 所
	運動実践・ 講義・試食	運動指導員 管理栄養士 保健師	10.10	6	健康センター
	保健指導 パネル展示	保健師 管理栄養士	8月～9月 (全7回)	○ 538	健康センター
体幹トレーニング教室	運動実践 ・講義	運動指導員 ・保健師等	9月～3月 (4回)	○ 52	総合体育館等
ロコモティブ シンドローム予防			7月～12月 (8回)	○ 83	河 辺 市 民 セ ン タ ー
ヘルスアップ教室			9月～2月 (8回)	○ 52	健康センター

※○印は延べ人数

※「高血圧症予防講座」および「お菓の飲み方講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ フォローアップ指導事業

(単位：人)

内 容		講 師	実施期間	延参加者	会 場
糖尿病予防講座	講義	医師 管理栄養士	11月～2月 (全6回)	35	市役所・ 健康セン ター等
個別指導・目標設定	講義・個別指導	保健師			
集団指導・目標評価	講義	歯科衛生士			
	歯科講座等 運動実践・講義	管理栄養士 運動指導員			

ウ 啓発事業

(単位：人)

内 容	実施期間	延べ人数	会 場
各種がんの予防	10月～11月 (14日間)	1,997	健康センター
生活習慣病の予防	9月 (10日間)	270	市役所
女性の健康づくり	3月 (6日間)	180	市役所等

(2) 健康相談

健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言および支援を行うことにより、市民の健康管理に資することを目的とし、健康相談を実施した。

ア 個別相談

(単位：回、人)

内 容	担 当	実施回数	相談者数	会 場
健康相談	保健師	24	520	健康センター・ 中央図書館・市役所等
栄養相談	管理栄養士	16	226	

イ その他の相談 (保健師・管理栄養士・歯科衛生士)

面接相談 52件 電話相談 342件

21 健康診査事業経費

生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療を促すため、検診(健診)事業を実施した。

(1) 受診勧奨

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象として、はがきにより各種検診の勧奨を行った。

勧奨者数 17,903人

(2) 尿酸検査

慢性腎臓病の早期発見のため、特定健康診査等と同時に実施した。

受診者数 21,437人

(3) 健康診査

ア 実施期間 7月1日から12月5日まで

イ 対象者 40歳以上の者のうち、生活保護や中国残留邦人の支援給付を受けている者

ウ 実施場所 市内41医療機関

エ 検査項目 問診、身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図、眼底

(歳出 4 衛 生 費)

オ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	13	41	34	57	27	53	25	92	99	243 (100.0)
	女	28		23		26		67		144	
異常なし	男	0	2	1	4	1	2	0	1	2	9 (3.7)
	女	2		3		1		1		7	
要指導	男	3	13	10	14	4	8	1	4	18	39 (16.0)
	女	10		4		4		3		21	
要医療	男	10	26	23	39	22	43	24	87	79	195 (80.3)
	女	16		16		21		63		116	

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(4) 骨密度検診

ア 実施期間 8月28日から9月7日のうち4日間

イ 対象者 18歳以上の女性

ウ 実施場所 健康センター

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	18～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70以上	合計
受診者数	3	18	51	125	181	160	538 (100.0)
異常なし	2	18	46	89	39	20	214 (39.8)
要指導	1	0	5	20	70	54	150 (27.9)
要精密検査	0	0	0	16	72	86	174 (32.3)

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(5) 肝炎ウイルス検診

ア 実施期間 7月1日から12月5日まで

イ 対象者

(ア) 40歳になる者

(イ) 41歳以上で過去に当該検査を受けたことのない者

ウ 実施場所 市内41医療機関

エ B型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40～49		50～59		60～69		70以上		合計	
受診者数	男	30	66	28	57	52	93	56	125	166	341 (100.0)
	女	36		29		41		69		175	
陰性	男	30	66	28	57	50	91	55	123	163	337 (98.8)
	女	36		29		41		68		174	
陽性	男	0	0	0	0	2	2	1	2	3	4 (1.2)
	女	0		0		0		1		1	

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

オ C型肝炎ウイルス検診年齢別受診者数および結果 (単位：歳、人、%)

年 齢 区 分		40～49		50～59		60～69		70以上		合 計	
受 診 者 数	男	30	66	28	57	52	93	56	125	166	341 (100.0)
	女	36		29		41		69		175	
感染していない 可能性が高い	男	29	65	27	56	52	93	56	124	164	338 (99.1)
	女	36		29		41		68		174	
感染している 可能性が高い	男	1	1	1	1	0	0	0	1	2	3 (0.9)
	女	0		0		0		1		1	

※合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(6) 成人歯科検診

ア 実施期間 9月1日から11月30日まで

イ 対象者 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の者

ウ 実施場所 市内40医療機関

エ 年齢別受診者数および結果 (単位：歳、人、%)

年 齢 区 分	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	合 計	
受診者数	男	14	3	6	5	11	6	13	17	14	15	20	124
	女	8	8	8	8	11	10	11	25	16	14	37	156
	計	22	11	14	13	22	16	24	42	30	29	57	280 (100.0)
異常なし	男	3	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1	9
	女	1	1	1	0	2	0	0	1	1	1	0	8
	計	4	1	1	0	5	0	0	1	1	3	1	17 (6.1)
要指導	男	2	0	0	1	1	1	1	3	0	1	1	11
	女	2	4	2	0	1	1	1	4	1	3	6	25
	計	4	4	2	1	2	2	2	7	1	4	7	36 (12.8)
要精密 検 査	男	9	3	6	4	7	5	12	14	14	12	18	104
	女	5	3	5	8	8	9	10	20	14	10	31	123
	計	14	6	11	12	15	14	22	34	28	22	49	227 (81.1)

※合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(7) 後期高齢者歯科健康診査

ア 実施期間 9月2日から11月30日まで

イ 対象者 75歳以上の者のうち、生活保護や中国残留邦人の支援給付を受けている者

ウ 実施場所 市内40医療機関

エ 年齢別受診者数は、75～79歳代の男性が2人、結果は2人とも要精密検査

22 がん検診事業経費

(1) 胃がん検診

ア 実施期間 10月1日から11月14日までのうち14日間

イ 対象者 35歳以上の者

ウ 実施場所 健康センター

(歳出 4 衛 生 費)

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	35~39		40~49		50~59		60~69		70以上		合計		
受診者数	男	17	53	67	171	50	200	156	370	341	678	631	1,472 (100.0)
	女	36		104		150		214		337		841	
異常なし	男	17	52	63	164	50	200	148	358	303	615	581	1,389 (94.4)
	女	35		101		150		210		312		808	
要精密検査	男	0	1	4	7	0	0	8	12	38	63	50	83 (5.6)
	女	1		3		0		4		25		33	

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
83	61 (100.0)	18 (29.5)	2 (3.3)	41 (67.2)

※( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(2) 子宮頸がん検診

ア 実施期間 7月14日から3月31日まで

イ 対象者 20歳以上で前年度検診を受診していない女性

ウ 実施場所 市内3医療機関

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	合計
受診者数	76	184	352	357	433	301	1,703 (100.0)
異常なし	70	178	344	353	428	298	1,671 (98.1)
要精密検査	6	6	7	4	5	2	30 (1.8)
判定不能	0	0	1	0	0	1	2 (0.1)

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果			
		異常なし	が ん	がんの疑い	そ の 他
30	17 (100.0)	8 (47.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	9 (52.9)

※( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(3) 乳がん検診

ア 実施期間 10月1日から3月31日まで

イ 対象者 40歳以上で前年度検診を受診していない女性

ウ 実施場所 健康センター、市内1医療機関および市外2医療機関

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40～49	50～59	60～69	70以上	合計
受診者数	444	492	607	474	2,017 (100.0)
異常なし	388	454	569	454	1,865 (92.5)
再検査	26	18	14	8	66 (3.3)
要精密検査	30	20	24	12	86 (4.2)

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結果		
		異常なし	がん	その他
86	62 (100.0)	32 (51.6)	5 (8.1)	25 (40.3)

※( )内の数字は受診者数に対する割合である。

(4) 肺がん検診

ア 実施期間 10月1日から11月14日までのうち14日間

イ 対象者 40歳以上の者

喀痰検査は、50歳以上で喫煙指数(1日当たりの喫煙本数×喫煙年数)が600を超える者

ウ 実施場所 健康センター

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40～49		50～59		60～69		70以上		合計		
受診者数	男	66	174	60	218	177	421	413	890	716	1,703 (100.0)
	女	108		158		244		477		987	
異常なし	男	66	174	60	215	175	414	396	859	697	1,662 (97.6)
	女	108		155		239		463		965	
要精密検査	男	0	0	0	3	2	7	17	31	19	41 (2.4)
	女	0		3		5		14		22	

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 喀痰検査

(単位：歳、人、%)

年齢区分	40～49		50～59		60～69		70以上		合計		
喀痰検査 受診者数	男	0	0	13	18	43	46	55	60	111	124 (100.0)
	女	0		5		3		5		13	
異常なし	男	0	0	13	18	43	46	55	60	111	124 (100.0)
	女	0		5		3		5		13	

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

カ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
27	27 (100.0)	9 (33.3)	0 (0.0)	18 (66.7)

※ ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

(5) 大腸がん検診

ア 実施期間 7月1日から12月5日まで

イ 対象者 40歳以上の者

ウ 実施場所 市内41医療機関

エ 年齢別受診者数および判定結果

(単位：歳、人、%)

年齢区分		40~49		50~59		60~69		70以上		合 計	
受診者数	男	278	680	386	1,026	1,108	2,943	4,083	9,889	5,855	14,538 (100.0)
	女	402		640		1,835		5,806		8,683	
陰 性	男	266	643	343	955	1,030	2,786	3,659	9,048	5,298	13,432 (92.4)
	女	377		612		1,756		5,389		8,134	
陽 性	男	12	37	43	71	76	152	416	822	547	1,082 (7.4)
	女	25		28		76		406		535	
検体不良	男	0	0	0	0	2	5	8	19	10	24 (0.2)
	女	0		0		3		11		14	

※合計欄の ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

オ 精密検査受診結果

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	結 果		
		異常なし	が ん	そ の 他
1,081	261 (100.0)	86 (33.0)	14 (5.3)	161 (61.7)

※ ( ) 内の数字は受診者数に対する割合である。

23 がん検診推進事業経費

(1) 実施期間

ア 子宮頸がん検診 9月1日から2月28日まで

イ 乳がん検診 9月1日から3月31日まで

(2) 対象者

ア 子宮頸がん検診 20歳の女性

イ 乳がん検診 40歳の女性

(3) 実施場所

ア 子宮頸がん検診 市内2医療機関

イ 乳がん検診 健康センター、市内2医療機関、市外2医療機関



(4) 受診者数および判定結果

ア 子宮頸がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査	判定不能
580	28 (100.0)	27 (96.4)	0 (0.0)	1 (3.6)	0 (0.0)

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

イ 乳がん検診

(単位：人、%)

対象者数	受診者数	異常なし	再検査	要精密検査
771	149 (100.0)	129 (86.6)	8 (5.4)	12 (8.0)

※合計欄の( )内の数字は受診者数に対する割合である。

24 感染症予防経費

(1) 消毒業務

感染症消毒業務は該当がなかった。

(2) 啓発

インフルエンザ等の感染防止のため、西多摩保健所と連携し、関係各課による予防対策の徹底を図るとともに、広報等により市民への周知と予防に努めた。

25 各種予防接種経費

(1) 予防接種法にもとづく定期予防接種

ア 集団接種(A類疾病)

1歳に至るまでの乳児を対象に結核(BCGワクチン)予防接種を実施した。

(単位：回、人、%)

区分	実施月	実施回数	委託先	年度対象者	接種者			年度対象者接種率
					年度対象者	その他	計	
一般分	通年	18	さくら通りクリニック	512	557	86	643	108.8
その他分		—	青梅市立総合病院 ・ 大月市立中央病院	—	3	0	3	0.6
計				512	560	86	646	109.4

※その他分は、集団接種日に接種できなかったもの

※接種者の「その他」は、前年度の未接種者および他市等からの依頼接種者

イ 個別接種(A類疾病)

(ア) 小児

予防接種法が改正され、10月1日からロタウイルスが定期接種となった。なお、昨年度に引き続き、子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨が差し控えられた。

(歳出 4 衛生費)

(単位：人、%)

種 別	該 当 者	回 別	年 度 対 象 者	接 種 者			年 度 対 象 率		
				年 度 対 象 者	そ の 他	計			
麻しん・風しん	1 期 12か月～24か月に 至るまでの間にある者	1 回 式	636	混合ワクチン	607	110	717	95.4	
				麻しん単 独ワクチン	0	0	0		
				風しん単 独ワクチン	0	0	0		
				計	607	110	717		
2 期	5 歳～7 歳未 満の者で小学校入 学前の1 年間	1 回 式	927	混合ワクチン	876	21	897	94.5	
				麻しん単 独ワクチン	0	0	0		
				風しん単 独ワクチン	0	0	0		
				計	876	21	897		
日 本 脳 炎	1 期初回	6 か 月～90か 月に 至るまでの間 にある者	2 回 式	1 回 目	730	505	311	816	69.2
			2 回 目	730	433	411	844	59.3	
	1 期追加	1 回 式	636	482	480	962	75.8		
	2 期	9 歳～13 歳未 満	1 回 式	1,773	475	573	1,048	26.8	
三 種 混 合	1 期初回	3 か 月～90か 月に 至るまでの間 にある者	3 回 式	1 回 目	0	0	0	0	0
				2 回 目	0	0	0	0	0
				3 回 目	0	0	0	0	0
1 期追加	1 回 式	0	0	0	0	0			
不 活 化 ポ リ オ	1 期初回	3 か 月～90か 月に 至るまでの間 にある者	3 回 式	1 回 目	0	0	0	0	0
				2 回 目	0	0	0	0	0
				3 回 目	0	0	0	0	0
	1 期追加	1 回 式	0	0	1	1	0		
四 種 混 合	1 期初回	3 か 月～90か 月に 至るまでの間 にある者	3 回 式	1 回 目	611	600	42	642	98.2
				2 回 目	611	563	91	654	92.1
				3 回 目	611	503	160	663	82.3
	1 期追加	1 回 式	667	517	233	750	77.5		
二 種 混 合	2 期	11 歳～13 歳未 満	1 回 式	1,014	348	471	819	34.3	
ヒ ブ	初 回	2 か 月～60か 月に 至るまでの間 にある者	1 回 目	592	580	30	610	98.0	
			2 回 目	592	547	110	657	92.4	
			3 回 目	592	488	187	675	82.4	
	追 加	1 回 式	617	555	215	770	90.0		
小 児 用 肺 炎 球 菌	初 回	2 か 月～60か 月に 至るまでの間 にある者	1 回 目	592	579	33	612	97.8	
			2 回 目	592	545	101	646	92.1	
			3 回 目	592	489	158	647	82.6	
	追 加	1 回 式	627	565	150	715	90.1		

(単位：人、%)

種 別	該 当 者	回 別	年 度 対 象 者	接 種 者			年 度 対 象 者 接 種 率	
				年度対象者	その他	計		
子宮頸がん	小学6年生～高校1年生相当年齢の女子	3回式	1回目	0	0	27	27	0
			2回目	0	0	18	18	0
			3回目	0	0	11	11	0
水痘	12か月～36か月に至るまでの間にある者	1回目	660	599	130	729	90.8	
		2回目	660	329	396	725	49.8	
B型肝炎	1歳に至るまでの間にある者	1回目	592	580	33	613	98.0	
		2回目	592	546	104	650	92.2	
		3回目	592	313	338	651	52.9	
ロタウイルス	1価	6週～24週までの間 に至るまでの間にある者	1回目	262	65	0	65	24.8
			2回目	262	50	4	54	19.1
	5価	6週～32週までの間 に至るまでの間にある者	1回目	262	167	7	174	63.7
			2回目	262	142	1	143	54.2
			3回目	262	112	2	114	42.7

※接種者の「その他」は、前年度までの未接種者および他市等からの依頼接種者

※接種者の「年度対象者（日本脳炎）」には、予防接種実施規則にもとづく特例対象者を含む

※ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンについては、接種開始月年齢によって接種回数異なる

※ロタウイルスワクチンについては、1価ワクチンと5価ワクチンで接種回数異なる

(イ) 大人

風しんの追加的対策におけるMR第5期（麻しん風しん）定期接種

対象世代の抗体保有率を上げるため、令和元年度に無料クーポン券を発行し、抗体検査と予防接種（抗体価が不十分な方のみ）を実施した。

令和2年度においては抗体検査未受検者に対し勸奨はがきを送付した。

a 期 間 令和元年6月1日から令和4年3月31日まで

b 対象者 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性

c 接種者数

(単位：人)

クーポン券発行者数	勸奨はがき送付者数	抗体検査受検者数	予防接種者数
17,523	5,695	1,664	293

(歳出 4 衛 生 費)

ウ 個別接種（B類疾病）

(ア) 高齢者インフルエンザ

a 期間 10月1日から1月31日まで

b 対象者

希望者のうち次に該当する者

(a) 接種日に満65歳以上の者

(b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者

c 実施医療機関数179機関

d 接種者数

(a) 生活保護受給者（全額公費負担） 737人（障害者3人含む）

(b) 生活保護受給者以外（全額公費負担） 24,740人（障害者27人含む）

※令和2年度中に限り、全額公費負担とした。

(イ) 高齢者肺炎球菌

a 期間 4月1日から3月31日まで

b 対象者

過去に23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチンの接種歴がない青梅市に住所を有する以下の者

(a) 令和2年度中に下表に掲げる年齢に達する者

区分	対象生年月日	区分	対象生年月日
65歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日	85歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日
70歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日	90歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日
75歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日	95歳	大正14年4月2日～大正15年4月1日
80歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日	100歳	大正9年4月2日～大正10年4月1日

(b) 接種日に満60歳以上65歳未満の者で、厚生労働省令で定める程度の障害を有する者

c 実施医療機関数 53機関

d 接種者数

(a) 生活保護受給者（全額公費負担） 50人（障害者0人含む）

(b) 生活保護受給者以外（一部公費負担） 1,544人（障害者0人含む）

(2) 任意予防接種

先天性風しん症候群の発症を予防するため、東京都委託事務である風しん抗体検査事業と併せ、風しん等予防接種助成事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

風しん抗体検査または妊婦健康診査等の結果、風しんに対する抗体価が十分でないことが確認できた青梅市に住所を有する19歳以上の者で、以下のいずれかに該当する者

(ア) 妊娠を予定または希望する女性

- (イ) (ア)の同居者
- (ウ) 妊婦の同居者

ウ 接種者数 (単位：人)

麻しん・風しん混合ワクチン接種者数	風しんワクチン接種者数	接種者数合計
78	1	79

(3) 風しん抗体検査事業

青梅市の風しん等予防接種助成事業と併せ、風しん抗体検査事業を実施した。

ア 期間 4月1日から3月31日まで

イ 対象者

19歳以上の者で、以下のいずれかに該当する者

- (ア) 妊娠を予定または希望する女性
- (イ) (ア) の同居者
- (ウ) 妊婦の同居者

ウ 検査結果 (単位：人)

検査方法	受検者数	要予防接種者数(抗体価不十分)	予防接種不要者数
H I 法	55	31	24
E I A 法	26	7	19
合計	81	38	43

(4) 特別な理由による再接種事業

令和2年度から、予防接種法にもとづく定期の予防接種による免疫が特別な理由によって消失した者が、任意で再度の予防接種を受ける際の費用を助成する事業を開始したが、申請者はいなかった。

(5) 新型コロナウイルス感染症にともなう定期接種の特例接種

新型コロナウイルス感染症にともない、規定の接種時期に定期接種が受けられなかった方に対し、特例を適用し、接種を行った。

対象期間 令和2年4月～令和3年3月

接種件数 19件

(6) 青梅市予防接種健康被害調査委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 横山美貴	医師会の代表	～R2.3.31	土井京子	医師会の代表	
◎ 高橋寛		R2.4.1～	播磨あかね	関係行政機関の職員	
○ 笹本光信			池田央	副市長	
成井研治					

任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日 ◎は委員長、○は職務代理者  
 なお、9月8日に書面により委員会を開催した。

(歳出 4 衛生費)

26 新型コロナウイルス対策感染症予防経費

(1) 新型コロナウイルス感染症対策本部会議

青梅市新型インフルエンザ等対策本部条例の規定にもとづき、新型コロナウイルス感染症対策について、庁内および市内の関係機関が相互に連絡調整を図り、総合的な対策を推進するため、対策本部会議（前身は「対策連絡会議」）を開催した。

ア 構成員 市長、副市長、教育長、会計管理者、各部長、青梅警察署、青梅消防署、青梅市医師会、青梅市歯科医師会、青梅市薬剤師会、西多摩保健所

イ 開催状況

(ア) 対策連絡会議

回	開催日	主 な 内 容
第1回	R2.1.31	本庁舎・各市民センターの感染予防対策について
第2回	R2.2.3	今後の市の取り組みや課題等について
第3回	R2.2.18	市主催イベント等の開催の可否について
第4回	R2.2.25	市主催イベント等の取扱基準の作成について

(イ) 対策本部会議

回	開催日	主 な 内 容
第1回	R2.2.28	市内小・中学校の臨時休校について
第2回	R2.3.2	イベント中止による影響について
第3回	R2.3.11	市施設貸し出し等の取り扱いについて 小・中学校の春休みまで臨時休校について
第4回	R2.3.18	市非常勤職員の陽性の報告について
第5回	R2.3.23	市主催イベントの取扱基準の再延長について
第6回	R2.3.31	市各部の対応状況について
第7回	R2.4.2	市主催イベント・市施設貸し出し等の取り扱いについて 外出自粛に関する市民への周知について
第8回	R2.4.7	緊急事態宣言（5月6日まで）の影響について 市内小・中学校の休校の延長について 市職員に感染者が出た場合等の対応について
第9回	R2.4.13	6月30日までの市主催イベントの取扱いについて 各市民センターの開館時間の変更について 職員の勤務体制について
第10回	R2.4.28	関係機関、市各部の対応状況について
第11回	R2.5.7	緊急事態宣言の延長（5月25日まで）について 市内小・中学校の休校期間について
第12回	R2.5.22	緊急事態宣言解除（5月25日）後の対応について
第13回	R2.6.11	市主催イベントの7月以降の取り扱いについて
第14回	R2.6.15	職員の新型コロナウイルス感染症への感染について
第15回	R2.6.18	職員の新型コロナウイルス感染症への感染について

回	開催日	主 な 内 容
第16回	R2. 7. 13	新型コロナウイルス感染症にかかる公表基準について
第17回	R2. 8. 21	各部における各種イベント等の中止等について
第18回	R2. 9. 25	市ホームページで公表する感染患者情報の項目追加について
第19回	R2. 11. 2	今冬のインフルエンザ対策について 市各施設の利用人数制限の緩和について
第20回	R2. 12. 17	年末年始の発熱者の診療体制について 新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保について
第21回	R3. 1. 8	緊急事態宣言中（1月8日から）のイベント開催について
第22回	R3. 2. 25	新型コロナウイルスワクチン接種の対応について 10月31日までの市主催のイベントの取扱いについて
第23回	R3. 3. 25	緊急事態宣言解除（3月21日）後の対応について 新型コロナウイルスワクチン接種への市の対応について

- (2) 青梅市医療機関等感染症対策支援給付金および防護服等の衛生用品の支給  
市内の医療機関で実施した新型コロナウイルス感染症対策費の支援および安定的な事業継続の支援を行うことを目的とした給付金を支給した。  
また、新型コロナウイルスPCR検査を実施する17の医療機関に対して、防護服等の衛生用品の支給を行った。

感染症対策支援給付金支給医療機関数 (単位：件)

病 院	診 療 所	歯科診療所	保 険 薬 局	施 術 所	計
13	60	60	58	34	225

支給額 35,610 千円

- (3) 青梅市健康センタートイレ新型コロナウイルス感染症対策修繕 11,792 千円  
健康センター1階および2階トイレに新型コロナウイルス感染症予防対策のための自動水栓等を設置した。
- (4) 健康センター歯科診療室バキューム等購入（備品購入） 3,209 千円  
新型コロナウイルス感染症予防対策として、健康センター歯科診療室に治療用バキュームを購入し、設置した。
- (5) 妊婦に対する新型コロナウイルスPCR検査費用の助成  
新型コロナウイルスPCR検査を全額自己負担で受けた妊婦を対象に、検査費用の一部を助成した。  
助成件数 38 件 助成額 730 千円

(歳出 4 衛 生 費)

(6) 子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を防ぐため、季節性インフルエンザワクチンを接種した子ども（満1歳から中学3年生まで）の保護者に対し、接種費用の一部を助成した。

助成件数 3,004件 助成額 6,026千円

27 新型コロナウイルス対策買物代行サービス事業経費

新型コロナウイルス感染症が不安で、外出を控えている妊娠中または出産後6か月以内の方を対象として、食品や日常生活用品など、日々の暮らしに必要な買い物を代行するサービスを、令和2年9月1日から令和3年3月31日まで実施した。

(単位：件、千円)

区 分	利 用 件 数	委 託 金 額
妊娠中または出産後6か月以内の方	151	559

28 新型コロナウイルス対策PCR検査センター建設経費

健康センター内青梅休日診療所に対応できない発熱診療および新型コロナウイルスPCR検査を実施することを目的として、新たな休日診療所の建設工事を行った。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

(単位：千円)

工 事 名	予 算 額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルス対策PCR検査センター（仮称）建設工事	114,693	45,193	69,500	114,693

29 救急医療体制確保支援事業経費

私的二次救急病院救急体制確保補助金 13,988千円

救急医療体制を確保するため、市内の私的二次救急の救急体制の確保に要する費用として、医療法人社団仁成会高木病院に対し、市民の搬送傷病者数に13,000円を乗じた額の補助金を交付した。

30 新型コロナウイルス対策PCR検査センター運営体制確保支援事業経費

青梅市地域外来・検査センター運営体制確保補助金 5,097千円

青梅市地域外来・検査センターにおいて、新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる者が適切に検査できる体制を確保するため、ドライブスルー式新型コロナウイルスPCR検査を実施する一般社団法人青梅市医師会に対し、補助金を交付した。



1 生活環境経費

(1) あき地の雑草対策

公共広場等の雑草除去を管理者に依頼した。

また、私有地について、条例にもとづいて土地の所有者に対し刈り取るよう指導を行った。そのうち農地については農業委員会へ指導を依頼した。

私有地(農地等を除く)の年間処理結果(4月1日～3月31日)

区 分	指導件数 (A)	刈取り件数 (B)	処理割合 (B/A)
件数 (件)	15	15	100 %
面積 (㎡)	4,143	4,143	100 %

(2) 公衆便所維持管理

ア 清掃委託

(単位：千円)

清 掃 場 所	受 注 者	金 額	契 約 期 間	備 考
青梅駅前 東青梅駅前(南口・北口) 河辺駅前(南口・北口)	(公社)青梅市シルバー 人材センター	5,553	4.1~3.31	火曜日と木曜日を除いた曜日は1日2回、火曜日と木曜日は1日1回清掃
日向和田駅前・御岳駅前 石神前駅前・軍畑駅前	(公社)青梅市シルバー 人材センター	3,232		毎日1回清掃
富岡1丁目都バス折返所	富岡光久	66		週2回清掃
成木7丁目都バス折返所	井田勝	66		
長淵3丁目水泳場脇	下長淵連合自治会 会長 宇津木 順一	125		週3回清掃。ただし、6~9月は週5回、4.29から7日間は毎日
畑中2丁目ポンプ場脇	峯岸政夫	66		週2回清掃
柚木町1丁目ポンプ場下	山下広子	66		
柚木町3丁目都バス折返所	黒沼鈴江	66		
千ヶ瀬神社前	千ヶ瀬町第1自治会 会長 高野和明	66		
富岡2丁目乙黒	富岡2丁目自治会 会長 橋本哲雄	66		
黒沢水浴場	黒沢3丁目第1自治会 会長 山崎正	66		
成木1丁目バス停前	成木1丁目自治会 会長 中村富男	66		
成木安楽寺前	金子融弘	66		
成木3丁目バス停前	成木3丁目自治会 会長 岩本正司	66		
成木8丁目都バス折返所	青木勇次	66		

(歳出 4 衛生費)

清 掃 場 所	受 注 者	金 額	契 約 期 間	備 考
成木6丁目滝成バス停前	野 寄 由美子	66	4.1~3.31	週2回清掃
成木6丁目師沢橋際	成木6丁目自治会 会長 木 崎 和 彦	66		
成木7丁目常盤橋際	成木7丁目自治会極指組 組長 加 藤 利 保	66		
成木8丁目高水山登山口	成木8丁目白岩自治会 組長 白 井 肇	66		
成木8丁目蜷沢院広場	蜷沢院 代表役員 沖 祐 昭	66		
二俣尾3丁目海禅寺前	二俣尾3丁目自治会 会長 島 田 広 之	133		
合 計		10,165		

イ 保守点検業務委託

(単位：千円)

内 容	受 注 者	点 検 場 所	金 額	契 約 期 間	備 考
駅前身障者用公衆便所 自動ドア保守点検	ナブコシステム(株) 西 東 京 支 店	東青梅駅南口 河辺駅南口 河辺駅北口	86	4.1 ~3.31	年2回
東青梅駅北口身障者用 公衆便所自動ドア保守点検	寺岡オート・ドアシ テム(株)立川営業所	東青梅駅北口	51	4.1 ~3.31	年2回

(3) スズメバチ等の巣除去費の補助

従来、防護服の貸出しを行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、巣の除去費用の一部補助を行った。

(単位：千円)

件 数	金 額	備 考
136	1,346	上限10,000円 申請1回限り

2 環境対策経費

(1) 環境基本計画の推進

環境基本計画の推進にあたっては、市民団体、事業者等で構成される青梅市環境連絡会において、市民が取り組める環境保全の事業選定を行うとともに、おうめ環境市民会議等と全市に向けた協働事業を行った。

ア 青梅市環境審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
氏 江 規 雄	公募による 市 民	11.27 退任	内 沼 秀 夫	事 業 者	11.28 就任
井 上 一 郎		11.28 就任	久 保 安 宏		
買 手 屋 節 子		11.27 退任	西 浦 定 継	学 識 経 験 者	
濱 中 美 宇		11.28 就任	◎ 小 堀 洋 美		
○ 高 橋 正	各 種 団 体 の 代 表		名 取 雄 太	関 係 行 政 機 関 の 職 員	
小 澤 徳 郎			金 子 章 敬		4. 1 就任
吉 野 好 男	事 業 者	11.27 退任			

任期：平成30年11月28日～令和2年11月27日 ◎は会長、○は副会長  
令和2年11月28日～令和4年11月27日

イ 審議会開催状況

令和2年度中に開催予定の審議会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため令和3年4月に延期した。

(2) 環境保全活動の支援

ア 青梅市環境連絡会との連携による取組

期 日	内 容
5.1～10.11	クールビズ運動
7.26～8.1	打ち水ウィーク 全市一斉打ち水 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
11.1～3.31	ウォームビズ運動
通 年	エコドライブ運動

イ おうめ環境市民会議との協働による取組

期 日	内 容 ( 開 催 場 所 )
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	環境体験学習イベント (青梅市役所)
	野鳥観察会 (大塚山公園周辺)
	市民環境活動展示 (青梅市役所)
	環境関連図書コーナー (中央図書館)
	外来植物「オオブタクサ」除去 (霞川沿い)
	青梅の森・市民森林体験 (青梅の森)
	基調講演 (青梅市役所)
3.15	おうめ環境ニュースの発行

(3) 環境保全活動の啓発

ア みどりのカーテン事業

事業名	内容
市民モニター事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止
公共施設緑化事業	本庁舎と10の市民センターの他、16の小中学校の計27施設で実施
みどりのカーテンコンテスト	青梅ガス株式会社、西東京農業協同組合との協働事業。個人部門17世帯、団体部門14団体が参加。審査により個人部門最優秀賞3点、優秀賞3点、佳作5点、団体部門最優秀賞、優秀賞、佳作各1点を表彰。

イ 環境月間啓発活動

6月の環境月間の期間中、約1か月にわたり環境フェスタとして各種イベントを開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となった。

ウ 青梅市ポイ捨ておよび飼い犬のふんの放置の防止ならびに路上喫煙の制限に関する条例に関する事業

期 日	内 容 ( 実 施 場 所 )
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	駅頭でのマナーアップキャンペーン (JR青梅駅・東青梅駅・河辺駅および小作駅北交差点周辺)
	第53回青梅産業観光まつりでのマナーアップキャンペーン (永山公園グラウンド)
	青梅線沿線5市一斉喫煙マナーアップキャンペーン (JR青梅駅・東青梅駅・河辺駅)

(4) 環境学習の推進

おうめ水辺の楽校運営協議会構成団体と協働で、小中学生を対象とした親水事業

期 日	事業名	協働団体
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	がんばれ！あゆっ子2020	NPO法人奥多摩川友愛会
	多摩川まるごと遊び塾	青梅・多摩川水辺のフォーラム
	いかだで遊ぼう in 霞川	霞川くらしの楽校
	炭焼き体験と水辺の交流会	美しい多摩川フォーラム
	ワクワク！ドキドキ！！水辺の探検隊	青梅・多摩川水辺のフォーラム
	親子魚釣り教室2020	NPO法人奥多摩川友愛会

(5) 第4次青梅市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進

ア CO<sub>2</sub>換算温室効果ガス排出量

青梅市の行う事務および事業に関し、地球温暖化対策の推進に関する法律で規定する温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン）を調査した。

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

	種 類	CO <sub>2</sub> (二酸化炭素)	CH <sub>4</sub> (メタン)	N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素)	HFC (ハイドロフル オロカーボン)	合 計
施設	29 年 度 (基準年度)	9,790,843.4	1,716.3	1,086.6	—	9,793,646.3
	2 年 度	7,180,832.2	2,096.3	1,044.5	—	7,183,973.0
	増 減	△2,610,011.2	380.0	△42.1	—	△2,609,673.3
	増 減 率	△26.7%	22.1%	△3.9%	—	△26.6%
車 両 ※	29 年 度 (基準年度)	174,880.5	566.3	4,909.3	3,334.5	183,690.6
	2 年 度	103,712.5	121.1	3,234.0	3,510.0	110,577.6
	増 減	△71,168.0	△445.2	△1,675.3	175.5	△73,113.0
	増 減 率	△40.7%	△78.6%	△34.1%	5.3%	△39.8%
合 計	29 年 度 (基準年度)	9,965,723.9	2,282.6	5,995.9	3,334.5	9,977,336.9
	2 年 度	7,284,544.7	2,217.4	4,278.5	3,510.0	7,294,550.6
	増 減	△2,681,179.2	△65.2	△1,717.4	175.5	△2,682,786.3
	増 減 率	△26.9%	△2.9%	△28.6%	5.3%	△26.9%

## イ 電気・燃料使用量の削減

空調使用や照明使用の節減を図り、またその他の電気・燃料使用量の削減を推進した。

## ウ 自動車燃料使用量の削減

庁用自動車やマイカーの適切な運行および利用を推進した。また、電気自動車（プラグインハイブリット車含む）を新規で26台導入し、利用を推進した。庁用自動車171台のうち電気自動車等は40台となり、電気自動車等の割合は23.4%となった。

## エ 省資源・リサイクルの推進

紙の節約、ごみの分別・排出量の抑制、レジ袋削減、事務用品等の再使用・再利用・リサイクルを推進した。

## オ 水道使用量の削減

水道使用の節減の推進を行った。

## カ グリーン購入の推進

「青梅市における環境に配慮した物品調達（グリーン購入）の推進方針」を定め、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準じて、報償物品、消耗品、印刷物品および備品を対象として環境に配慮した購入の推進を実施した。

(歳出 4 衛生費)

(6) 墓地等の経営の許可等の状況

申請日	申請の区分	決定日	決定の内容
12.23	納骨堂	1.19	経営の許可

(7) 放射線量測定

放射性物質による市内の環境の状況把握のため、空間放射線量の定期定点測定を市内4地点で1か月に1回行った。測定の結果、青梅市放射性物質対応指針に定めた除染基準である毎時0.23マイクロシーベルトを超えた地点はなかった。

定期定点測定

(単位： $\mu$  S v / h)

測定日	測定地点			
	第二小学校	第五小学校	成木小学校	新町小学校
4.15	0.04	0.03	0.06	0.05
5.25	0.03	0.03	0.05	0.04
6.16	0.04	0.04	0.05	0.05
7.27	0.04	0.03	0.05	0.04
8.20	0.03	0.03	0.04	0.04
9.17	0.03	0.06	0.06	0.04
10.15	0.05	0.03	0.06	0.05
11.18	0.06	0.03	0.05	0.04
12.11	0.07	0.04	0.06	0.07
1.15	0.04	0.03	0.06	0.06
2.16	0.05	0.04	0.05	0.04
3.18	0.05	0.04	0.06	0.05

(8) 小型放射線測定器貸出

放射線測定を希望する市民への小型放射線測定器の貸出しを行った。

貸出件数 1件

### 3 生物多様性地域戦略推進経費

#### (1) 青梅ひとと生き物イキイキプランの推進

市内の生物多様性の保全と持続可能な利用を推進するため、青梅ひとと生き物イキイキプランにもとづき施策を実施した。

##### ア 青梅市生物多様性保全協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
佐藤真弓	公募による市民	※1	大久保芳木	市の区域内の生物多様性の保全等を行う団体に所属する者	
上坂真寿美			荒井悦子		
久保政次郎		※2	御手洗望		
笹本靖子			久保田繁男		
横田樹広	学識経験または専門的知識を有する者		青山一彦	関係行政機関の職員	
草野保					
須田真一					
三好ゆき江					

任期：令和元年8月19日～令和3年8月18日

※1 平成31年2月6日～令和3年2月5日

※2 令和3年2月6日～令和5年2月5日

##### イ 協議会開催状況

開催期日	内容
9.25	外来生物防除事業の進捗状況について 青梅ひとと生き物イキイキプランにおける平成30年度市の取組状況の調査結果について (新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面開催)

#### (2) 特定外来生物等への対策推進

生物多様性の保全の推進のために業務委託による特定外来生物等の調査および捕獲・駆除を行った。

##### ア 調査

(単位：千円)

委託名称	委託内容	調査地点	捕獲数	金額	受注者	契約期間
外来生物防除業務委託 (総価契約)	生息状況調査 捕獲・駆除作業	5地点 (10台)	アライグマ 9頭	1,106	㈱ヨシダ消毒 多摩営業所	12.22 ～3.12

( ) は捕獲器設置数

##### イ 捕獲・駆除

(単位：千円)

委託名称	委託内容	依頼件数	捕獲数	金額	受注者	契約期間
外来生物防除業務委託 (単価契約)	捕獲・駆除作業	56件 (52台)	アライグマ 39頭 ハクビシン 1頭	1,088	㈱ヨシダ消毒 多摩営業所	4.1 ～3.31

( ) は捕獲器設置数

(歳出 4 衛生費)

#### 4 動物愛護事業経費

飼い主のいない猫を保護し譲渡等を行う団体に対し、事業に要する費用の一部を補助した。(単位：千円)

名 称	交 付 先	金 額
青梅市飼い主のいない猫対策事業補助金	おうめ猫の会	200

#### 5 飼い犬登録等事務経費

(1) 畜犬登録頭数および狂犬病予防注射済票交付数 (単位：頭)

区 分	市内各注射会場 交 付	窓口交付	動物病院 交 付	合 計	再交付
登 録 頭 数	2	415	145	562	164
注射済票交付数	161	1,523	3,353	5,037	9

※ 年度末登録頭数 6,859頭

(2) 狂犬病予防注射済票等交付手数料収納事務委託契約

(単位：交付数・枚、金額・千円)

動物病院名	鑑札交付数	注射済票交付数	金額	契約期間
アテナ動物病院 青梅	27	328	36	4.1～3.31
イオン動物病院 日の出	0	32	3	
牛浜ペットクリニック	0	35	4	
青梅しんまちペットクリニック	10	180	19	
河辺ペットクリニック	3	106	11	
くま動物病院	24	1,175	120	
島田動物病院	8	134	14	
下澤動物病院	0	44	4	
ともだ動物病院	0	60	6	
長崎動物病院	7	37	4	
にしやま動物病院	20	371	39	
ふう動物病院	17	301	32	
町田動物病院	23	377	40	
わあーみー動物病院	6	173	18	
合 計	145	3,353	350	

※ 鑑札・注射済票ともに交付1件につき委託料100円

#### 6 公害対策経費

(1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関する事務処理状況

ア 工場

(ア) 認可 (単位：件)

設置認可	変更認可	不認可	取下げ	認定	次年度繰越
7	6	0	0	14	2



(イ) 届出

(単位：件)

氏名等変更届	承継届	廃止届	職権削除	化学物質 使用量等報告書
13	1	6	0	13
化学物質 管理方法書	土壤汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届	
3	1	1	1	

(ウ) 監察

(単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

イ 指定作業場

(ア) 届出

(単位：件)

設置届	変更届	氏名等変更届	承継届	廃止届
3	0	4	1	0
化学物質 使用量等報告書	化学物質 管理方法書	土壤汚染状況 調査報告書	汚染拡散防止 計画書	汚染拡散防止 措置完了届
8	0	0	0	0

(イ) 監察

(単位：件)

事故届	改善勧告	改善命令
0	0	0

(2) 騒音規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出

(単位：件)

施設の種類	金属加工機械	空気圧縮機等	印刷機械	木材加工機械	合計
件数	0	4	0	0	4

イ 特定施設に係る変更等の届出

(単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類ごとの数変更	承継	廃止
件数	0	6	3	0	2

ウ 特定建設作業の届出

(単位：件)

届出の種類	くい打設	破砕	掘削	空気圧縮機	合計
件数	1	12	0	1	14

(3) 振動規制法に関する事務処理状況

ア 特定施設設置の届出

(単位：件)

施設の種類	金属加工機械	圧縮機	破砕機等	印刷機械	合計
件数	0	5	0	0	5

(歳出 4 衛生費)

イ 特定施設に係る変更等の届出

(単位：件)

届出の種類	防止の方法変更	氏名等変更	種類および能力ごとの数変更	承継	廃止
件数	0	6	3	0	2

ウ 特定建設作業の届出

(単位：件)

作業の種類	くい打設	破砕	合計
件数	2	9	11

(4) 苦情の受付および対応状況

(単位：件)

現象	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計
受付件数	74	1	38	10	83	2	208
対応件数	74	1	38	10	83	2	208

(5) 事業所調査

ア ばい煙調査

例年、大気汚染の原因とされるいおう酸化物、窒素酸化物、ばいじん等について、ボイラー（伝熱面積5㎡以上）を使用している事業所の中から3事業所（3施設）を抽出して調査しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ 使用燃料いおう分調査

例年、重油を使用している事業所のうち6事業所（6検体）について、使用燃料を調査しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

ウ 工場等排水調査

例年、水質汚濁発生源に対する規制指導として、19事業所に立ち入り、排水の水質調査をしているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(6) 環境調査

ア 河川水質調査

河川の汚濁状況を把握するため、本支流8河川について水質調査を行い、支流3河川について底質調査を行った。

(単位：pHなし、その他はmg/L)

河川名	多摩川		成木川	
地点名	御岳橋	多摩川橋	北小曾木川合流後	両郡橋
類型	AA	A	A	A
pH	7.2	7.8	7.7	7.9
BOD	0.5	0.8	0.8	0.5
SS	2	3	<1	2
DO	11.2	10.9	10.5	10.6

河川名	黒 沢 川		霞 川	
地点名	峯 向 橋	落 合 橋	城 前 橋	金 子 橋
類 型	A	A	A	A
pH	7.7	8.1	7.7	8.0
BOD	0.5	0.5	0.5	0.6
SS	<1	1	<1	3
DO	10.3	10.9	10.2	10.4

※ 生活環境の保全に関する環境基準

p H 6.5以上8.5以下

B O D A A… 1 mg/L 以下 A… 2 mg/L 以下 B… 3 mg/L 以下

S S 25mg/L 以下

D O A A・A… 7.5mg/L 以上 B… 5 mg/L 以上

イ 地下水調査

例年、3か所の井戸から年1回（10月）地下水を採水し、調査しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

ウ 道路交通騒音・振動調査

道路交通騒音・振動の実態を把握するため、騒音規制法・振動規制法の規定にもとづき調査を行った。

（単位：dB）

調 査 地 点	調 査 期 間	騒 音						振 動			
		調 査 結 果		環 境 基 準		要 請 限 度		調 査 結 果		要 請 限 度	
		昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
秋 川 街 道 長 淵 8 丁 目	9.7 ～9.10	66	58	70	65	75	70	27	19	70	65
成 木 街 道 根ヶ布 2 丁 目	9.29 ～10.2	69	62	70	65	75	70	41	20	65	60
新 町 8 丁 目	10.5 ～10.8	67	63	70	65	75	70	41	34	65	60
吉 野 街 道 畑 中 3 丁 目	10.20 ～10.23	70	65	70	65	75	70	24	18	65	60
吉 野 街 道 柚 木 町 2 丁 目	10.12 ～10.15	67	61	70	65	75	70	27	19	65	60
青 梅 街 道 日 向 和 田 3 丁 目	10.26 ～10.29	64	57	70	65	75	70	28	18	65	60
青 梅 街 道 新 町 1 丁 目	11.24 ～11.27	69	62	70	65	75	70	28	21	65	60
新 町 5 丁 目	11.30 ～12.3	61	59	70	65	75	70	29	27	70	65
友 田 町 4 丁 目	9.14 ～9.17	60	59	70	65	75	70	21	21	65	60

（歳出 4 衛 生 費）

※ 時間区分… (騒音) 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時  
(振動) 昼間：午前8時～午後7時 夜間：午後7時～翌日午前8時  
用途地域が近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域の場合は、  
昼間：午前8時～午後8時 夜間：午後8時～翌日午前8時

※ 環境基準… 生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで、維持されることが望ましい基準（環境基本法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する空間に該当するため、特例の基準値を適用する。

※ 要請限度… 指定地域内において、道路交通法上の規定による措置を要請することができる基準（騒音規制法第17条）

指定地域内において、道路交通振動防止のための舗装、維持または修繕の措置を執るべきことを要請し、または道路交通法の規定による措置を要請することができる基準（振動規制法第16条）

なお、実施した騒音調査については、すべての調査地点が幹線交通を担う道路に近接する区域に該当するため、特例の基準値を適用する。

#### エ 自動車騒音常時監視

騒音規制法の規定にもとづき、市内10路線10区間で調査を実施し、沿道地域における環境基準の達成状況を評価した。

路線名	評価区間			達成率(%)	
	始点	終点	延長(km)	昼間	夜間
一般国道411号	青梅飯能線	奥多摩青梅線	6.3	99.8	100
立川青梅線	羽村市・青梅市境	立川青梅線	0.2	100	100
瑞穂富岡線	瑞穂富岡線	青梅飯能線	0.5	100	100
奥多摩青梅線	柚木二俣尾線	一般国道411号	4.5	99.2	99.2
青梅秩父線	青梅飯能線	下畑軍畑線	2.3	100	100
青梅入間線	青梅飯能線	青梅入間線	1.8	100	100
所沢青梅線	藤橋小作線	新宿青梅線	0.3	97.7	98.3
藤橋小作線	新宿青梅線	青梅市・羽村市境	1.0	100	100
下畑軍畑線	青梅秩父線	下畑軍畑線	5.5	100	100
下畑軍畑線	下畑軍畑線	一般国道411号	0.4	100	100

※ 時間区分… 昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～翌日午前6時

オ 交差点等大気汚染調査

大気汚染の原因の一つとされる二酸化窒素について、主要交差点等12か所において年1回調査を行った。

(単位：ppm)

調査交差点地名 まは調査地点	二酸化窒素	
	夏期(6.23~24)	
青梅新町	0.017	
友田	0.006	
長瀬七丁目	0.013	
青梅市民会館南	0.011	
御岳橋	0.007	
成木五丁目	0.007	
青梅四小前	0.013	
梅郷四丁目	0.007	
今寺	0.016	
友田町4丁目	0.016	
七日市場	0.017	
新岩蔵大橋	0.010	
平均	0.012	

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、または、それ以下。

カ 酸性雨調査

森林や湖沼、文化財等への影響から問題になっている雨水の酸性度について把握するため、市役所屋上にて毎月調査を行った。

採取月 分析項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
水素イオン濃度 (pH)	5.1	5.3	5.0	4.7	5.8	5.8	5.5	5.8	—	5.8	5.8	5.8	5.5

※ 一般にpHが5.6以下の雨を酸性雨という。

※ 12月については、降雨量不足により欠測。

キ 大気中ダイオキシン類調査

市内4か所において、ダイオキシン類の調査を行った。

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)

調査地点 \ 調査期間	夏期 (8.19~8.26)	冬期 (2.5~2.12)
青梅市役所2階テラス	0.019	0.0082
第五小学校屋上	0.011	0.0069
長淵市民センター駐車場	—	0.0068
上長淵自治会館	—	0.0077

※ ダイオキシン類にはコプラナーPCBを含む。

※ 単位：pg (ピコグラム) は、1兆分の1g。

※ 環境基準… 0.6 pg-TEQ/m<sup>3</sup> 以下。

※ 長淵市民センター駐車場および上長淵自治会館については、冬季のみの調査。

ク 大気中アスベスト調査

市内3か所において、年1回(9月)アスベストの調査(総繊維数濃度調査)を行った。

(単位：本/L)

調査地点 \ 調査日	9.4
青梅市役所	0.085
新町市民センター	0.19
梅郷市民センター	0.056

※ 大気汚染防止法において定められた基準値10本/L。

※ WHO(世界保健機関)の評価基準によると、「世界の都市部の一般環境中の石綿繊維数濃度は1本~10本/L程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い」とされている。

ケ 微小粒子状物質調査

例年、市内1か所において、微小粒子状物質の調査を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

コ 藻類・底生生物調査および定性分析

アユの餌となる付着藻類の現状把握のため、市内の多摩川の3か所において調査を実施した。(例年、年3回実施しているが、年1回とした。また、底生生物および川石の付着物の定性分析の調査については、中止とした。)

なお、経年変化の確認のため、過去の分析資料から底生生物、付着藻類について出現種を分類学的に集計し生物学的水質判定を行ったところ、数値の年間変動に規則性は見られず、水質は継続してきれいな水域であるとの結果であった。

## (ア) 藻類出現種

調査地点	調査日
	4.28
市民球技場	34種類
和田橋	37種類
楓橋	36種類

## (イ) 灰分率

(単位：%)

調査地点	調査日
	4.28
市民球技場	80.7
和田橋	69.2
楓橋	59.4

※ 灰分率とは、採取試料に占める無機物の割合。

## (7) 採石公害対策

採石事業に伴って発生する公害を未然に防止するため、ダンプトラック交通量および粉じん調査を行うとともに、青梅市採石等公害防止対策連絡協議会を開催し、各事業所の公害防止のため連絡調整をした。また、粉じん防止のため、機械の保守点検・洗車施設の有効使用について各事業所への巡回指導を行った。

## ア 主要交差点のダンプトラック交通量調査

(単位：台)

調査交差点名	調査日		調査交差点名	調査日	
	12.17	3.11		12.17	3.11
成木五丁目	911	915	長渕七丁目	627	801
成木八丁目	1,323	1,347	佐藤塚	107	316
黒沢二丁目	1,104	1,133	軍畑駅入口	265	590
青梅四小前	763	871			
新岩蔵大橋	554	565			
梅ヶ谷峠入口	614	943	合計	6,268	7,481
梅ヶ谷峠入口交差点タンクローリー車台数			平均台数	696	831
			梅ヶ谷峠入口交差点タンクローリー車台数	13	25

## イ 採石場周辺の大気中粉じん調査

(単位：mg/m<sup>3</sup>)

調査地点	調査期間	測定値	調査地点	調査期間	測定値
成木8-368付近	11.9~11.10	0.020	成木5-1102付近	11.4~11.5	0.018
成木8-420付近	11.12~11.13	0.017	成木7-622付近	11.5~11.6	0.025
成木8-853-2付近	11.5~11.6	0.022	駒木町2-435付近	11.10~11.11	0.014
成木5-1400付近	11.4~11.5	0.019	平均		0.019

※ 環境基準… 1時間値の1日平均値が0.1mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ1時間値が0.2mg/m<sup>3</sup>以下。

(歳出 4 衛生費)

(8) 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会

ア 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
見目幸司	関係地区 住民代表		横森直樹	関係行政機関 の職員	4.14 就任
山崎茂		9.10 退任	後藤広治		4.1 就任
中野敏章		9.11 就任	桑嶋康雄		2.14 退任
井上良平			副島多光生		2.15 就任
◎高橋誠			野崎達一郎	採石事業者 代表	
伊藤明男		9.10 退任	澤本哲俊		
高村直一		9.11 就任	大村昌一		3.3 退任
青木修		9.10 退任			
○木寄功		9.11 就任			

任期：平成30年9月11日～令和2年9月10日、令和2年9月11日～令和4年9月10日

◎は会長、○は職務代理者

イ 協議会開催状況

開催日	内容
7.7 書面	青梅市採石等公害防止対策連絡協議会における採石場等巡視に伴う指摘事項および意見について 採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について
10.27	採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会の名称変更について 採石事業場の変更認可について 令和2年度採石場巡視について
1.20 書面	ダンプトラックシート掛け調査の実施結果について 砕石運搬車両の夜間および早朝パトロールの実施結果について 採石場共同パトロールの実施結果について 採石場等製品搬出・残土搬入台数調書について 採石事業場の認可更新について 青梅市採石等公害防止対策連絡協議会の名称変更について

(9) 光化学スモッグ（オキシダント）

令和2年度は、本市を含む多摩西部地域において、光化学スモッグ注意報、警報および重大緊急報の発令はなかった。

(単位：日)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
注意報発令日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



7 墓地公園管理経費

(1) 墓地公園使用状況

(単位：区画)

種 別	区 画 数			使 用 状 況					
	元 年 度 末	本 年 度 異 動 数	合 計	元 年 度 末	2 年 度 使 用 許 可 数	2 年 度 返 還 数	総 使 用 数	残 数	
規 格 墓 地	4.5㎡	742	0	742	734	4	4	734	8
	3.75㎡	360	0	360	358	2	2	358	2
自 由 墓 地	408		0	408	399	2	2	399	9

(単位：体)

種 別	収 容 可 能 体 数			使 用 状 況					
	元 年 度 末	本 年 度 異 動 数	合 計	元 年 度 末 使 用 許 可 数	2 年 度 使 用 許 可 数	総 使 用 許 可 数	2 年 度 収 容 数	総 収 容 数	残 数
樹 林 墓 地 (1区画)	1,020	0	1,020	109	100	209	21	42	811
無 縁 墓 地	340	0	340	—	—	—	7	7	333

※ 無縁墓地は使用権の消滅した区画墓地の遺骨を令和2年度から改葬開始した。

(2) 墓地公園管理清掃業務委託

(単位：千円)

種 別	内 容 ・ 面 積	金 額	受 注 者	契 約 期 間
規 格 等 墓 地	手 抜 除 草 約4,494㎡×6回	8,304	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1~3.31
	草 刈 約5,000㎡×6回			
	芝 張 約 185㎡×1回			
	芝 清 掃 約4,494㎡×1回			
自 由 墓 地	手 抜 除 草 約1,838㎡×6回			
	草 刈 約3,568㎡×6回			
墓 地 公 園 内 全 体	低木刈込 約1,538㎡×2回			
	中木刈込 約 89㎡×2回			
	梅せん定 年1回			
	はき掃除 約7,250㎡×12回			
そ の 他	ごみ処理 週1回 (供具、供花、供物および紙くず等の除去)			
	便所清掃 月2回(2棟)			
	芝切り(規格墓地使用者が納骨する際、事前に納骨できる状態にする)			
	緩衝山林の草刈り			
	除雪			
	軽微な修繕等			
	植樹			
	受水槽等の清掃	55	(株)友伸産業	8.4~9.30

(歳出 4 衛 生 費)

## (3) 墓地公園立木伐採、枯死木および危険木伐採枝剪定業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契約期間
立木伐採	165	(株)松本造園土木	12.22～2.26
枯死木および危険木伐採剪定	660		2.16～3.19

## (4) 樹林墓地焼骨埋蔵等業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契約期間	実施回数
樹林墓地への焼骨の埋蔵	30	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1～3.31	4回

## (5) 樹林墓地納骨式業務委託

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契約期間	実施回数
樹林墓地への焼骨の埋蔵時に催す納骨式の実施	44	(株)梅文社	4.1～3.31	4回

## 8 環境改善施設整備経費

(単位：千円)

内 容	金 額	受 注 者	契約工期
青梅駅前喫煙スポットパーティション設置工事	4,884	(株)山崎工務店	12.8～3.18

○ 葬 祭 費 ( 1 2 5 , 9 0 0 , 6 8 7 円)

[市民課]

## 斎場火葬場管理経費

## 1 火葬場

## (1) 火葬場運営状況

青梅市火葬場については、指定管理者制度を導入しており、平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行った。

## (2) 火葬場使用状況

(単位：件、%)

区 分	青 梅 市	奥多摩町	あきる野市	日の出町	そ の 他	合 計
件 数	1,661	1	7	1	180	1,850
構 成 比	89.8	0.1	0.3	0.1	9.7	100.0
摘 要	開場日数 300日 休場日数 65日 (友引日62日、1月1日～3日) 1日平均6.2件					

## (3) 動物炉使用状況

(単位：件)

区 分	犬	猫	そ の 他	合 計
件 数	216	352	804	1,372

## (4) 主な修繕

修繕名称	修繕内容	金額	実施者	契約期間
火葬炉等修繕	火葬炉耐火材修繕(1～4号炉)、残灰集塵装置部品交換ほか	9,240千円	富士建設工業(株)	6.25 ～10.30

## 2 斎場

## (1) 斎場運営状況

青梅市民斎場については、指定管理者制度を導入しており、平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、富士建物管理・富士建設工業共同体が運営を行った。

## (2) 式場使用状況

(単位：回、%)

区 分	通 夜	告 別 式	合 計	構 成 比
式 場	316	473	789	100.0
第 1 式 場	141	201	342	43.3
第 2 式 場	173	270	443	56.2
第 3 式 場	2	2	4	0.5
祭 壇	316	473	789	100.0
仏 式	227	344	571	72.4
神 式	32	45	77	9.7
キリスト教式	0	0	0	0
そ の 他	57	84	141	17.9
摘 要	開場日数 362日 休場日数 3日(1月1日～3日) 使用許可人数 473人			

## (3) 会席室等使用状況

(単位：時間)

区 分	会席室(1)	会席室(2)	会席室(3)	会席室(5)	霊安室	湯かん室
使用延べ時間	223	88	143	27	17,500	100

○ 病院事業費 ( 1, 278, 312, 525 円)

[財政課]

病院事業経費

(単位：千円)

区 分	金 額	内 訳 (財 源)	
病院事業会計負担金	783,435	繰出基準にもとづく負担金	783,435
病院事業会計補助金	277,372	特殊財政需要(新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金)	149,794
		クラスター発生による職員就業制限に伴う補填(総合交付金)	68,435
		感染防止対策費補助(新型コロナウイルス対策助け合い基金)	58,830
		リモート環境整備(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	313
病院事業会計出資金	213,513	繰出基準にもとづく出資金	92,992
		資本金減少に伴う出資	105,439
		来院者サーモグラフィー検査機器およびリモート環境整備(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	15,082
病院事業会計繰出金	3,993	ふるさと納税寄付金分	3,195
		退職給付引当金分	798
合 計	1,278,313		

○ ワクチン接種費 ( 38, 277, 786 円)

[新型コロナウイルスワクチン接種担当]

新型コロナウイルスワクチン接種事業経費

1 実施体制の構築

市民への新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施するため、令和3年1月12日付けで新型コロナウイルスワクチン接種担当を設置した。

2 コールセンターの設置

ワクチン接種への問い合わせや今後の予約に対応するため、令和3年3月1日からコールセンターを設置した。

3 集団接種の準備

集団接種会場の備品として、救急用人工蘇生器等を購入した。また、令和3年4月以降に送付するため、65歳以上の高齢者用のワクチン接種券を印刷した。

4 翌年度繰越事業(繰越明許費)

(単位：千円)

事業名	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルスワクチン接種事業	276,294	22,127	254,167	276,294

清 掃 費

3, 0 2 2, 4 1 7, 1 6 7 円

○ 廃棄物対策費 (3, 0 2 2, 4 1 7, 1 6 7 円) [清掃リサイクル課]

1 廃棄物減量等推進審議会経費

(1) 廃棄物減量等推進審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考
小 花 紀 彦	青梅市自治会連合会代表	
泊 正 人	青梅市環境美化委員連合会代表	5.31退任
白 川 弘	〃	6.1就任
仁 藤 茂 則	教育関係者代表	
坂 齋 修	市民公募委員	
奥 松 千 恵 子	〃	
清 水 大	事業者代表	
小 山 孝	〃	
吉 川 博 司	消費者団体代表	9.16退任
高 橋 康 雅	〃	9.17就任
○ 鈴 木 隆	資源回収事業者代表	
◎ 小 村 建 一	市清掃受託会社代表	

任期：令和元年12月1日～令和3年11月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 審議会開催状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による開催とした。

開 催 日	内 容
2.26	報告事項 (1) 審議会の書面開催の可否について (2) 会長の選出について (3) 令和元年度ごみ収集状況等について (4) 令和元年度集団回収の状況について (5) 新型コロナウイルス感染症対策について (6) 令和2年度の新たな取り組みについて (7) 青梅市リサイクルセンターの改修について

2 美化環境推進経費

(1) 美化デーの実施

毎月第2日曜日を美化デーと定め、市内一斉に清掃を実施するよう努めた。

(2) 市内の環境美化と不法投棄防止対策

美化活動の一環として、不法投棄の比較的多い場所にごみ捨て禁止の立看板を設置した。

(歳出 4 衛 生 費)

## (3) ごみ収集等委託

(単位：千円)

委託名称	場 所	受注者	金額	期 間
環境美化推進重点 地区清掃業務委託	青梅駅、東青梅駅（南口、北口）、 河辺駅（南口、北口）、小作駅	(公社)青梅市 シルバー人材 センター	1,252	4.1 ～3.31
美化デーごみ等収集 運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	2,228	
多摩川河川敷清掃 業務および多摩川 河川ごみ収集運搬 業務委託	河川敷清掃業務（10か所） 柚木町1丁目先河原（山崎河 原）から河辺市民球技場周辺 河川ごみ収集運搬業務（6か所） 御岳苑地トイレ横から市民球技 場管理棟横	青梅新興(株)	1,542	4.1 ～3.31
休日動物死体および 平日大型動物死体 収集運搬業務委託	市内全域	(株)大島商事	2,127	4.1 ～3.31
合 計			7,149	

## (4) 不法投棄廃棄物収集実績

(単位：品)

収 集 数	収 集 量	情 報 提 供 件 数
家 電	15,920kg	市 民
家 具		警 察
そ の 他		職 員
計		そ の 他
		計

## (5) 不法投棄廃棄物等処理実績

(単位：千円)

区 分	品 目	処理量	受注者	金 額
家電リサイクル法	テレビ	29台	青梅新興(株)	154
	エアコン	1台		
	冷蔵庫・冷凍庫	12台		
	洗濯機・衣類乾燥機	3台		
その他処分	タイヤ	97本	NKリサイクル(株)	21
	木くず	3m <sup>3</sup>	(株)ケイハツ	128
	畳	390kg		
	混合廃棄物	3.3m <sup>3</sup>		
収 集 ・ 運 搬		6回	青梅新興(株)	946
合 計				1,249

※ 4家電については、一般財団法人家電製品協会の不法投棄未然防止事業を実施。

## (6) 青梅市環境美化委員連合会補助金

(単位：千円)

団 体	補 助 金	目 的	備 考
青梅市環境美化 委員連合会	2,246	青梅市のごみ減量および 環境美化向上のため	環境美化委員 679人

(7) 環境美化各地区委員会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(8) 環境美化大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。なお、環境美化指導員永年功労者、環境衛生・美化優良団体、環境衛生・美化善行等の表彰を行った。

(9) 多摩川1万人の清掃大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

3 ごみ減量対策経費

(1) 市民への周知および啓発

ア 青梅市ごみ収集カレンダーの配布

青梅市ごみ収集カレンダーについて、青梅市環境美化委員連合会が中心となり3月に全戸配布を行った。

また、ボランティア団体などにより作成した点字版および音声版（デイジー方式）の青梅市ごみ収集カレンダーを、希望者に配付した。

イ 外国語版「青梅市のごみと資源物の分け方・出し方」の作成

6か国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語）の表記があるごみ分別リーフレットを作成した。

ウ エコバッグの作成

前年度に引き続きスーパーのレジかごサイズのエコバッグを作成するとともに、コンビニエンスストア等で利用できるコンパクトサイズのエコバッグを作成した。

エ ごみ情報紙の発行

ごみ減量・資源リサイクルの自主的な取組と意識啓発を促進するため、ごみ情報紙「ごみ減量・リサイクル通信」を3月15日に発行した。

オ 出前講座等

ごみの減量と資源のリサイクル促進に向けた適正な分別排出などについて、市内小学校の要請にもとづく講座を開催した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校等の施設見学や中学校の体験学習の受入れを中止した。

(ア) ごみ減量講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(イ) ごみ処理施設見学会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(ウ) その他

(単位：人)

区 分	件 数	参 加 者 数
ごみ減量講座	2	95
小中学校施設見学	0	0
中学校体験学習	0	0

## カ フードドライブ

家庭内で余っている食品を集め、フードバンク等へ寄付するフードドライブ事業については、7月15日以降、通年での随時受付を実施した。

なお、集めた食品は、市内で福祉施設や子ども食堂等への食品提供を行うフードバンク青梅に寄付した。

受付場所	受付件数	回収量
清掃リサイクル課	117件	395.4kg

## (2) 小学生ごみ減量化・資源リサイクル推進作品コンクール

市内の小学4年生から6年生を対象に、ごみ減量と資源のリサイクルを推進し、ごみ問題の重要性を訴え、理解していただけるよう啓発することを目的に実施した。

なお、入賞作品は市役所1階ロビーでの掲示、広報紙およびホームページでの公表を行った。また、金賞および最優秀賞作品については、青梅市ごみ収集カレンダーに掲載した。

ア 表彰式 10月25日 市役所2階会議室

## イ 応募状況

(単位：人)

区 分	ポスター部門				キャッチフレーズ部門			
	4年生	5年生	6年生	合 計	4年生	5年生	6年生	合 計
応 募	62	19	5	86	143	15	11	169
入 賞	金 賞	1	1	1	3	最優秀賞 1		1
	銀 賞	1	1	1	3	優秀賞 2		2
	銅 賞	1	1	1	3			

## (3) 青梅市リサイクル推進協力店の登録状況 (3月31日現在) 15店舗

## (4) 資源回収事業

ごみ減量、資源の有効活用を積極的に推進すべく、資源有価物の分別と資源回収を各種団体の協力を得て実施した。

ア 資源再利用実施団体奨励報償金対象品目回収量 (単位：kg、円/kg)

品 目	新 聞	雑 誌 ・ 雑 紙	紙 パ ッ ク	ダンボール	織 維 類
回 収 量	807,737.0	640,411.0	14,275.0	518,084.0	122,499.0
基 準 額	9	13	13	11	11
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計
44,048.0	53,363.0	16,142.0	2,560.0	195,486.0	2,414,605.0
8	20	16	16	15	



イ 資源再利用実施団体奨励報償金および特別報償金地区別交付状況

(単位：千円)

地区	奨励報償金			特別報償金		
	団体数	回数	金額	団体数	回数	金額
青 梅	15	156	4,156	15	174	611
長 淵	12	192	2,628	12	208	610
大 門	20	204	3,696	17	230	557
梅 郷	8	42	1,259	3	33	51
沢 井	11	38	690	2	26	50
小 曾 木	1	62	1,041	1	10	120
成 木	2	12	95	0	0	0
東 青 梅	23	215	4,043	19	224	556
新 町	20	203	3,672	17	201	478
河 辺	20	229	4,057	18	226	506
藤橋・今井	6	66	2,141	6	71	302
合 計	138	1,419	27,478	110	1,403	3,841

ウ 資源回収事業協力助成金対象品目回収量

新型コロナウイルス感染拡大に伴う資源物市場価格の下落に伴い、令和3年1月より助成金単価の改定を行った。

(単位：kg、円/kg)

品 目		新 開	雑 誌 ・ 雑 紙	紙 パ ッ ク	ダンボール	織 維 類
回収量	合 計	186,405	150,199	13,805	124,245	120,089
	4~12月			10,593		94,860
	1~3月	186,405	150,199	3,212	124,245	25,229
単 価	4~12月			1		5
	1~3月	2	3	3	3	
く ず 鉄 類	ア ル ミ	1.8Lびん	ビールびん(大びん)	その他のびん	合 計	
43,758		15,999	2,400	194,856	851,756	
32,536		11,311	1,987	146,029		
11,222		4,688	413	48,827		
5		4	4	16		

エ 資源回収事業協力助成金交付状況

業 者 数	回 数	金 額
12	1,454	5,227千円

(歳出 4 衛 生 費)

#### 4 ごみ収集経費

##### (1) 収集制度

区 分		収 集 方 法 等
燃 や す ご み		週2回収集（月・木曜日、火・金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
燃 や さ な い ご み		月1回第1週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み		第1週を除く各週収集（月～金曜日） 指定収集袋による戸別有料収集（一部ステーション収集）
有害ごみ	蛍 光 管	週1回燃やさないごみおよび容器包装プラスチックごみ収集日に併せて戸別無料収集（一部ステーション収集） およびリサイクルセンターへ持込み
	乾 電 池	
	ライタースプレー缶等	
粗 大 ご み		申込制による随時戸別有料収集または個人有料持込み
資源ごみ	新 聞 紙	月1回第1水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	雑 誌 ・ 雑 紙	月1回第2水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	ダンボール・紙パック	月1回第3水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	繊維類（かばん、靴、ベルト、ぬいぐるみ）	月1回第4水曜日戸別無料収集（一部ステーション収集）
	カ ン	第1、第3、第5週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ビ ン	第2、第4週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ペ ッ ト ボ ト ル	週1回収集（月～金曜日、一部ステーション収集）
	ガ ラ ス	第1、第3、第5週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）およびリサイクルセンターへ持込み
	陶 磁 器	第2、第4週の戸別無料収集（月～金曜日、一部ステーション収集）およびリサイクルセンターへ持込み
	廃 食 用 油	リサイクルセンターへ持込み
	小 型 家 電	公共施設での拠点無料収集、リサイクルセンターへ持込み

##### (2) 燃やすごみ、資源ごみ収集

###### ア 委託状況

（単位：千円）

受 注 者	金 額	期 間	稼 働 台 数	備 考
青 梅 新 興 (株)	378,783	4.1～3.31	19台	燃やすごみ 週4日間 新聞、雑誌・雑紙、ダンボール・紙パック、繊維類の資源ごみ 各1日間
スイハン企業(株)	69,102		5台	
(株)大島商事	69,799		4台	
合 計	517,684			

イ 燃やすごみ収集状況

(単位：kg)

区 分	受 注 者	稼働日数	輸送回数	収 集 量
戸別分	青梅新興(株)	206	11,935	14,270,950
	スイハン企業(株)	206	2,823	4,109,580
	(株)大島商事	206	2,144	3,248,800
	計		16,902	21,629,330
御岳山	青梅新興(株)	52	※	18,370
合 計			16,902	21,647,700

※ 御岳山の輸送回数は、戸別分の青梅新興(株)に含まれる。

ウ 資源ごみ（新聞紙、雑誌・雑紙、ダンボール・紙パック、繊維類）収集状況

(単位：kg)

区 分	受 注 者	稼働日数	輸送回数	収 集 量
新聞紙 第1水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	571	595,660
	スイハン企業(株)		125	131,070
	(株)大島商事		129	154,410
	青梅新興(株)(御岳山)		12	1,530
	計		837	882,670
雑誌・雑紙 第2水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	781	1,006,290
	スイハン企業(株)		193	269,760
	(株)大島商事		159	246,030
	青梅新興(株)(御岳山)		12	4,220
	計		1,145	1,526,300
ダンボール ・紙パック 第3水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	887	596,650
	スイハン企業(株)		213	156,820
	(株)大島商事		200	143,180
	青梅新興(株)(御岳山)		12	6,250
	計		1,312	902,900
繊維類 第4水曜日 収 集	青梅新興(株)	12	606	487,430
	スイハン企業(株)		149	138,410
	(株)大島商事		124	116,230
	青梅新興(株)(御岳山)		12	1,380
	計		891	743,450

(3) 燃やさないごみ、容器包装プラスチックごみ収集

ア 委託状況

(単位：千円)

受 注 者	金 額	期 間	稼働台数	備 考
青梅新興(株)	99,713	4.1~3.31	週5日5台	燃やさないごみ 月1回収集 容器包装 プラスチックごみ 第1週を除く 週1回収集
スイハン企業(株)	101,640		週5日6台	
合 計	201,353			

(歳出 4 衛生 費)

イ 収集状況

(単位：kg)

区分	受注者	燃やさないごみ			容器包装プラスチックごみ			合計		
		稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量	稼働日数	輸送回数	収集量
戸別分	青梅新興(株)	60	801	482,460	197	2,079	720,010	257	2,880	1,202,470
	スイハン企業(株)		681	631,670		1,742	951,790		2,423	1,583,460
	計		1,482	1,114,130		3,821	1,671,800		5,303	2,785,930
御岳山	青梅新興(株)	12	12	1,950	39	39	2,240	51	51	4,190
合計			1,494	1,116,080		3,860	1,674,040		5,354	2,790,120

※ 有害ごみ（乾電池および蛍光灯等）を含む

(4) 粗大ごみ収集

ア 委託状況

(単位：千円)

委託名称	場所	受注者	金額	期間
粗大ごみ収集運搬業務委託および粗大ごみ運び出し業務委託	市内全域 (御岳山除く)	(株)大島商事	32,736	4.1 ～3.31
粗大ごみ運び出しサービス業務委託	市内全域 (御岳山除く)	(公社)青梅市 シルバー人材センター	200	4.1 ～3.31

イ 収集状況

(単位：kg)

区分	稼働日数	取扱件数	品数	取扱量
収集	257	9,700	33,171	359,920
個人持込	294	77,267	236,111	1,802,610
御岳山	27		88	390
合計			269,370	2,162,920

※ せん定枝を含む

(5) 資源ごみ（ビン・カン・ペットボトル・ガラス・陶磁器）収集

ア 委託状況

(単位：千円)

受注者	金額	期間	稼働台数	備考
奥住運輸(有)	69,141	4.1～3.31	週5日6台	ペットボトル 週1回 カン・ガラス 第1・3・5週 ビン・陶磁器 第2・4週
(有)サンクリーン永昌	60,311		週5日5台	
(有)青梅クリーンリサイクル	49,870		週5日4台	
共同企業(株)	11,946		週5日1台	
合計	191,268			

## イ 資源ごみ（カン）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	137	1,259	126,920
(有)サンクリーン永昌		883	99,490
(有)青梅クリーンリサイクル		1,351	98,070
共同企業(株)		218	25,390
青梅新興(株)（御岳山分）	27	26	1,080
合計		3,737	350,950

## ウ 資源ごみ（ビン）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	120	1,035	281,400
(有)サンクリーン永昌		654	224,870
(有)青梅クリーンリサイクル		969	199,810
共同企業(株)		173	49,580
青梅新興(株)（御岳山分）	24	24	2,720
合計		2,855	758,380

## エ 資源ごみ（ペットボトル）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	257	2,384	169,150
(有)サンクリーン永昌		1,631	129,030
(有)青梅クリーンリサイクル		2,182	122,410
共同企業(株)		391	31,160
青梅新興(株)（御岳山分）	51	51	710
合計		6,639	452,460

## オ 資源ごみ（ガラス）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	137	943	21,500
(有)サンクリーン永昌		710	20,200
(有)青梅クリーンリサイクル		634	12,460
共同企業(株)		165	3,470
青梅新興(株)（御岳山分）	27	25	190
合計		2,477	57,820

## カ 資源ごみ（陶磁器）収集状況

(単位：kg)

受注者	稼働日数	輸送回数	収集量
奥住運輸(有)	120	883	68,470
(有)サンクリーン永昌		644	65,050
(有)青梅クリーンリサイクル		917	42,470
共同企業(株)		164	10,490
青梅新興(株)（御岳山分）	24	26	400
合計		2,634	186,880

(歳出 4 衛生費)

## (6) 御岳山収集委託状況

区 分	受注者	金 額	期 間	稼働台数	備 考
御岳山収集	青梅新興(株)	4,233千円	4.1~3.31	週1日4台	毎週金曜日

※ 収集状況については種類ごとの表に記載

## (7) 終末処分状況

(単位：kg)

区 分	西多摩衛生組合環境センター			リサイクル センター等	計
	収 集	一般持込	計		
年 間	23,872,120	5,493,660	29,365,780	8,789,760	38,155,540
月 平 均	1,989,343	457,805	2,447,148	732,480	3,179,628

## (8) 指定収集袋関係

ア 製作配送等委託 (受注者：ジェイフィルム(株))

(単位：円、枚)

区 分	期 間	燃 や す ご み		燃 や さ ない ご み		容 器 包 装 プラスチックごみ		
		単 価	数 量	単 価	数 量	単 価	数 量	
家 庭 系	4.1~3.31	大 袋	11.60	1,505,200	11.60	135,970	11.60	549,530
		中 袋	7.12	3,042,630	7.12	151,680	7.12	1,464,290
		小 袋	5.62	1,304,630	5.62	55,930	5.62	296,250
		特小袋	4.08	366,520	4.08	30,610		
事 業 系	4.1~3.31	一 般 大 袋	12.20	98,610	22.00	4,970	16.00	15,130
		一 般 小 袋	16.00	11,000	80.00	350	70.00	0
		福 祉 大 袋	12.70	204,910	50.00	4,330	25.00	8,750
		福 祉 小 袋	8.80	76,700	150.00	0	70.00	3,500
ボランティア袋			12.00	30,000	100.00	3,500		
数 量 計				6,640,200		387,340		2,337,450
金 額		83,533千円						

イ 取扱事務委託

(単位：円、組)

取扱店名	区 分							期 間	
	種 類	燃 や す ご み		燃 や さ ない ご み		容 器 包 装 プ ラ ス チ ッ ク ご み			
		金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数	金 額	交 付 組 数		
三昭堂薬店 以下156店舗	家 庭 系	大 袋	600	171,762	480	20,434	300	66,912	4.1 ~ 3.31
		中 袋	300	298,258	240	25,330	150	132,011	
		小 袋	150	144,930	120	14,031	70	41,427	
		特小袋	70	42,337	60	7,322			
	事 業 系	大 袋	1,610	10,076	1,610	1,634	1,610	2,580	
		小 袋	805	2,170	805	1,296	805	1,154	
	数 量 計		669,533		70,047		244,084		
	金 額		37,015千円						
	委 託 料		取扱金額×11%						

※ 消費税課税届出取扱店については消費税率分を上乗せし執行

※ 1組当たり10枚

※ 青梅市指定収集袋取扱店の事務負担を軽減するため、11月1日より事務委託料の支払い方法を変更した。

5 清掃指導経費

(1) 一般廃棄物管理票制度（マニフェスト）の実施状況

(単位：kg)

区 分	搬 入 先	マニフェスト実施事業所数	搬 入 量
燃 や す ご み	西多摩衛生組合環境センター	568	5,493,660
燃 や さ ない ご み	青梅市リサイクルセンター	28	9,260
せ ん 定 枝		15	122,090

(2) 一般廃棄物収集・運搬業、処分業および浄化槽清掃業の許可状況

許 可 区 分	一 般 廃 棄 物 収 集 ・ 運 搬 業	一 般 廃 棄 物 処 分 業	浄 化 槽 清 掃 業	合 計
件 数	47	2	1	50

(3) 事業系持込みごみ調査

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

6 資源物処理等経費

(1) 資源物持ち去り防止パトロール

毎月第1水曜日の「古新聞回収日」に資源物の持ち去り防止を目的に、パトロールおよびGPS機器を使い、調査を実施した。(直営1～2班)

持ち去りを確認した者に対し、条例にもとづく指導を行った。

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 資源物処理

## ア 搬入内訳

(単位：t)

区 分	年間量	月平均	搬入先	台数
燃やさないごみ	1,152.14	96.01	青梅市リサイクルセンター	24,624
容器包装プラスチックごみ	1,674.04	139.50		
粗大ごみ	1,755.82	146.32		
ビン	758.38	63.20		
ペットボトル	452.46	37.70		
小型家電(回収ボックス分)	4.07	0.34		
廃食用油	2.97	0.25		
陶磁器	208.81	17.40		
ガラス	64.19	5.35		
せん定枝	529.19	44.10		
合計	6,602.07	550.17		
新聞	882.67	73.56	青梅資源リサイクル事業協同組合	7,966
雑誌・雑紙	1,527.11	127.26		
ダンボール・紙パック	903.18	75.26		
繊維類	748.20	62.35		
カン	350.95	29.25		
合計	4,412.11	367.68		
総合計	11,014.18	917.85	合計	32,590

## イ 処理

## (ア) 破砕処理施設・せん定枝等処理施設運転状況

区 分	年 間	月 平 均
破砕処理施設	運 転 日 数 (日)	261
	運 転 時 間 (時間:分)	1,239:30
せん定枝処理施設	運 転 日 数 (日)	150
	運 転 時 間 (時間:分)	518:12
電 力 使 用 量 (Kwh)	357,272	29,773

## (イ) 内訳

(単位：t)

区 分	年 間 量	月 平 均
有価物等処理	5,443.30	453.61
容器包装リサイクル法処理	2,418.59	201.55
可燃残渣	2,224.42	185.37
有害物処理	102.72	8.56
再生品販売	78.18	6.51
その他	668.82	55.74
合計	10,936.03	911.34



## (ウ) 有価物等処理内訳

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	処 理	
破 碎 磁 性 物		114.79	9.57	青梅市リサイクル センター	
鉄 プ レ ス		48.57	4.05		
自 転 車		43.59	3.63		
ス ト ー ブ ・ 傘 等		213.24	17.77		
ア ル ミ	プ レ ス	23.53	1.96		
	ガ ラ ニ ウ ム	19.00	1.58		
混 合 有 価 物		218.88	18.24		
生 ビ ン		64.96	5.41		
綿 布 団		1.19	0.10		
羽 毛 布 団		8.22	0.68		
プ ラ ス チ ッ ク 再 利 用 物		64.26	5.36		
家 電 製 品		11.95	1.00		
小 型 家 電		151.59	12.63		
せ ん 定 枝 微 粉 砕		68.53	5.71		
廃 食 用 油		2.97	0.25		
充 電 式 電 池		0.08	0.01		
新 聞		881.18	73.43		青梅資源リサイクル 事業協同組合
雑 誌 ・ 雑 紙		1,524.41	127.03		
ダ ン ボ ー ル ・ 紙 パ ッ ク		898.79	74.90		
織 維 類		748.20	62.35		
カ ン	ス チ ー ル	150.78	12.57		
	ア ル ミ	184.59	15.38		
合 計		5,443.30	453.61		

※ 空きビン（カレット）、ペットボトル、白色トレイは、下記の容器包装リサイクル法の処理のため含まれない。

## ウ 容器包装リサイクル法処理内訳

容器包装リサイクル法にもとづき、分別収集したガラスビン（カレット）・プラスチック製容器包装・白色トレイ・ペットボトルの再商品化業務を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会へ委託した。

(単位：t)

区 分		年 間 量	月 平 均	再 生 処 理 事 業 者 名
カ レ ッ ト	白 色	350.70	29.23	(株)ウイズウェイストジャパン
	茶 色	189.40	15.78	
	そ の 他 色	144.75	12.06	(有)大原ガラスリサイクル
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装		1,332.24	111.02	(株)エコスファクトリー
白 色 ト レ イ		2.96	0.25	(株)加藤商事
ペ ッ ト ボ ト ル		398.54	33.21	ジャバンテック(株)
合 計		2,418.59	201.55	

(歳出 4 衛生費)

## (3) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
選別処理業務	粗大ごみおよび燃やさないごみ等の選別処理業務	79,115	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
適正処理困難物処	人工石等の処理業務	390	(有)青梅クリーンリサイクル他	
青梅市行政回収資源物選別処理	新聞紙等五品目選別処理	46,488	青梅資源リサイクル事業協同組合	
不燃廃棄物運搬資源化処理業務	ガラス・陶磁器類の廃棄物運搬資源化処理業務	8,597	ガラスリソーシング(株)	
可燃残さ運搬等業務	可燃残さ運搬等業務	21,833	(有)青梅クリーンリサイクル	
廃プラスチック容器包装等圧縮梱包業務	廃プラスチック容器包装等の圧縮梱包業務	31,858		
せん定枝資源化業務	せん定枝資源化施設運転業務	5,234		
容器包装再商品化業務	容器包装プラスチック等の再商品化業務	1,217	(公財)日本容器包装リサイクル協会	
フロンガス処理	冷風機等のフロンガス処理業務	630	(有)青梅クリーンリサイクル	

## 7 有害ごみ対策経費

## (1) 選別および処理の委託

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
有害ごみ等選別回収業務	リサイクルセンターへ搬入された乾電池等の有害ごみの選別回収業務	3,147	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
廃乾電池処理業務	廃乾電池の処理業務	3,770	野村興産(株)	(搬出日) 7.8、11.16、3.2
水銀含有廃棄物(蛍光管等)処理業務	蛍光管の処理業務	975		(搬出日) 11.16、3.2
スプレー缶およびライター運搬処理業務	スプレー缶およびライターの処理業務	8,688	長沼商事(株)	4.1~3.31

## (2) 搬入量および搬出量

(単位：t)

区 分	前年度繰越量	搬 入 量	搬 出 量	年度末保管量
乾電池	3.77	43.45	44.51	2.71
蛍光管	0.53	10.83	10.43	0.93
スプレー缶	0	44.40	44.40	0
ライター	0	3.38	3.38	0
計	4.30	102.06	102.72	3.64

## 8 し尿収集経費

### (1) し尿くみ取り業務委託

(単位：千円)

区 域	金 額	受 注 者	期 間	備 考
市 内 全 域 (御岳山を除く)	42,912	青梅新興(株)	4.1~3.31	1ヶ月当たり3,250,000円 (消費税込)
御 岳 山	8,619			1kg当たり30.23円(消費税込) し尿管点検環境整備

### (2) し尿くみ取り加入件数

一般占有者	特 殊 占 有 者				合 計
	くみ取り式 水洗便所	アパート・寮等	事 業 所	計	
719	379	2	464	845	1,564

### (3) し尿年間収集状況

(単位：L)

区 分	年 間	
	件 数	収 集 量
一 般	3,701	517,950
特 殊 (水 洗)	642	158,010
特 殊 (事 業 所)	1,027	344,620
御 岳 山	106	231,200
浄 化 槽 汚 泥	790	2,409,350
合 計	6,266	3,661,130

## 9 し尿処理経費

### (1) 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会

#### ア 青梅市し尿処理施設管理運営懇談会委員

区 分	氏 名	役 職	区 分	氏 名	役 職
会 長	水 村 邦 男	黒沢1丁目第2自治会 代 表	委 員	吉澤喜代治	黒沢1丁目第2自治会代表
会長職務代理	水 村 匡 弘		〃	小 村 建 一	処 理 事 業 者 代 表
委 員	小 村 明		〃	築 地 國 雄	

任期：平成30年7月1日～令和2年6月30日

#### イ 懇談会開催状況

開 催 日	内 容
6.26	青梅市し尿処理施設管理運営懇談会の廃止について

※7月1日をもって懇談会を廃止した。

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 主なし尿処理業務委託

(単位：千円)

区 分	金 額	受 注 者	期 間	備 考
し 尿 処 理	34,491	青梅新興(株)	4.1～3.31	2,264,500円/月(税抜)+薬品類実費
脱 水 汚 泥 等 処 分	1,666	(株)エコ計画	4.1～3.31	脱水汚泥処理 1t 17,000円(税抜) し渣処理 1t 50,000円(税抜)
	1,959	よりいコンポスト(株)		
脱 水 汚 泥 等 運 搬	2,718	青梅新興(株)	4.1～3.31	1回当たり29,420円(税抜)
脱 水 汚 泥 等 検 査	528	(株)環境管理センター 技術センター	12.25～2.15	

## (3) 主な施設管理業務委託

(単位：千円)

名 称	金 額	受 注 者	期 間
し尿処理場施設点検整備業務委託	20,350	日立造船(株)東京本社	4.1～3.31
し尿処理場受入槽等清掃業務委託	451	青梅新興(株)	9.1～10.31
し尿処理場受入槽等清掃に伴う 汚泥処分業務委託	190	(株)スィーピングサービス	9.1～10.31
し尿処理場自家用電気工作物保安 管理業務委託	317	(一財)関東電気保安協会	4.1～3.31

## (4) し尿・浄化槽汚泥処理状況

区 分	青梅市	福生市	羽村市	瑞穂町	合 計
し 尿 投 入 量 (kg)	1,196,430	61,940	45,700	233,370	1,537,440
し 尿 投 入 割 合 (%)	77.8	4.0	3.0	15.2	100.0
浄化槽汚泥投入量(kg)	2,462,270	30,010	488,070	1,064,190	4,044,540
浄化槽汚泥投入割合(%)	60.9	0.7	12.1	26.3	100.0
脱水汚泥処分量(kg)	125,034	3,049	18,298	44,219	190,600
し 渣 処 分 量 (kg)	722	17	106	255	1,100

※青梅市の処理状況には、下水道事業会計における公設浄化槽を含む。

## 10 浄化槽清掃料金軽減措置経費

## 浄化槽清掃料補助金交付状況

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
ば っ き 型	21	200
腐 敗 型	2	25
小 型 合 併 型	35	561
合 計	58	786

11 リサイクルセンター管理経費

(1) 主な委託業務

(単位：千円)

委託名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
日 常 清 掃	日常清掃業務	679	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1~3.31
警 備 業 務	建物警備業務	429	セコム(株)	
屋 外 清 掃	屋外清掃業務	402	(有)青梅クリーンリサイクル	
破 砕 施 設 総 合 点 検	破砕処理施設の総合的な点検業務	8,470	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	5.12~3.31
コンパクトおよび コンテナ保守点検	機器の保守点検業務	1,760	新明和工業(株)	5.21~3.31
クレーン設備 点 検 整 備	天井クレーン等の保守点検業務	1,159	(株)日立プラントメカニクス関東支店	5.8~3.31
ごみ搬送 コンベヤ等清掃	搬送コンベヤ等清掃業務	7,298	(有)青梅クリーンリサイクル	4.1~3.31
消 防 設 備 保 守 点 検	消防用設備保守点検業務	487	(株)星光	4.13~3.31
自家用電気工作物 保 安 管 理	自家用電気工作物の保安管理業務	612	(一財)関東電気保安協会多摩事業本部	4.1~3.31
各集水ピット汚泥 引 抜 お よ び 清 掃	各集水ピットの汚泥引抜と清掃および水質検査の業務	880	(株)環境システムサービス	6.2~3.31
粗大ごみ受入れ コンベヤ等清掃	粗大ごみ受入れコンベヤ等清掃業務	825	(株)菱和実業	6.10~3.31
長寿命化総合計画 策 定	施設の長寿命化を図るための計画書策定業務	5,940	(株)建設技術研究所東京本社	4.1~3.31

(2) 主な修繕

(単位：千円)

修繕名称	内 容	金 額	受 注 者	期 間
粗大ごみ受入 コンベヤ主務 チェーン取替修繕	主務チェーンの交換	9,900	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	9.8~3.18
金 属 プ レ ス 機 油圧ユニット修繕	油圧ポンプ、シーケンサー、入力ブロック交換等	4,851		10.1~3.18
粗大ごみ破砕機 油圧ユニット修繕	方向制御弁、リリーフバルブ交換等	3,740		5.7~3.18
せん定枝資源化用 植 織 機 修 繕	ベアリング、オイルシール交換等	1,830	(株)アーステクニカ	6.3~8.28
振 動 コ ン ベ ヤ 防 振 バ ネ 修 繕	防振バネ交換	1,815	メタウォーター(株) 営業本部東京営業部	9.16~1.8

12 御岳山ごみ処理施設管理経費

(1) 委託先

(単位：千円)

受 注 者	金 額	期 間	備 考
御 岳 山 自 治 会	904	4.1~3.31	排出される生ごみを必要に応じ、市が設置した生ごみ処理機で処理する

(歳出 4 衛 生 費)

## (2) 生ごみ処理量

(単位：kg)

1・4号機（氷川道）	2号機（神社下）	3号機（番場前）	計
6,842	5,537	2,917	15,296

## 13 西多摩衛生組合経費

(単位：円)

区 分	組 合 総 負 担 金	算 出 率	負 担 割 合	算 出 額	前 年 度 繰 越 金	調 整 額	青 梅 市 負 担 金
事 務 費	157,858,000	1/2 均等割	1/4	19,732,250	3,330,341	△757	54,145,000
		1/2 人口割	47.82%	37,743,848			
地 元 補 償 金	羽村市へ 32,000,000	20/100均等割	1/3	2,133,333	1,360	1,200	25,404,000
		80/100人口割	※1 59.63%	15,265,281			
	瑞穂町へ 16,000,000	20/100均等割	1/3	1,066,667			
		80/100人口割	※2 54.21%	6,938,879			
余 熱 利 用 施 設 事 業 費	115,163,000	人口割	47.82%	55,070,946	2,460,553	△393	52,610,000
じんかみ処理費	1,394,520,000	実績投入	47.17%	657,795,084	23,147,782	△302	634,647,000
公 債 費	198,692,000	人口割	47.82%	95,014,514	44,969	455	94,970,000
合 計							861,776,000

※1 羽村市を除いた2市1町での青梅市の人口割合

※2 瑞穂町を除いた3市での青梅市の人口割合

## 14 東京たま広域資源循環組合経費

(単位：千円)

区分	組合総負担金	算出率	負担割合	算出額	青梅市負担金
管理費	399,342	1/4 均等割	1/26	3,839	13,500
		3/4 人口割	※2 3.2255412%	9,661	
事業費	谷戸沢処分場事業費 661,168	搬入比率	※3 3.8643791%	25,550	25,550
	二ツ塚処分場事業費 ※1				75,874
	建設管理費 1,957,793	搬入実績比率	※4 3.8754795%	75,874	
	エコセメント事業費				182,672
	施設建設費 528,719	搬入実績比率	※5 3.3856044%	17,900	
	固定費 947,220	1/4 均等割	1/26	9,107	
		3/4 人口割	※2 3.2255412%	22,915	
	変動費(湿灰分) 2,662,058	搬入実績比率	※6 0.9386394%	24,987	
	変動費(乾燥灰分) 699,975	搬入実績比率	※7 11.4741089%	80,316	
	修繕費 (湿灰・乾燥灰共用設備分) 778,631	搬入実績比率	※8 3.4313052%	26,717	
修繕費 (乾燥灰専用設備分) 5,094	搬入実績比率	※9 14.3249685%	730		
減容化計画精算額				△4,057	△4,057
合 計					293,539

※1 埋立処分費は、平成30年度青梅市未搬入のため負担なし

※2 構成市町全体の人口4,134,128人のうち青梅市の人口133,348人

※3 搬入比率(26団体 2,589,600m<sup>3</sup>、青梅市 100,072m<sup>3</sup>)※4 搬入実績比率(26団体 1,178,151m<sup>3</sup>、青梅市 45,659m<sup>3</sup>)

※5 搬入実績比率(26団体 1,846,081t、青梅市 62,501t)

※6 搬入実績比率(26団体 64,455t、青梅市 605t)

※7 搬入実績比率(14団体 15,121t、青梅市 1,735t)

※8 搬入実績比率(26団体 1,215,281t、青梅市 41,700t)

※9 搬入実績比率(15団体 167,407t、青梅市 23,981t)

## 15 リサイクルセンター施設整備経費

## (1) リサイクルセンター整備事業

(単位：千円)

工事名称	工事内容	金額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 流し台設置工事	新型コロナウイルス感染拡大 防止のため破砕棟手選別ライ ン付近に流し台を設置	1,085	(株)高野設備	9.14~10.20

(歳出 4 衛生費)

## (2) 債務負担行為にもとづくリサイクルセンター整備事業

## ア 委託

(単位：千円)

委託名称	契約金額	令和元年度 支払額	令和2年度 支払額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 容器包装プラスチック処理 ライン設置工事監理委託	6,204	1,800	4,404	国際航業(株) 多摩営業所	2.3.6～ 3.3.15

## イ 工事

(単位：千円)

工事名称	契約金額	令和元年度 支払額	令和2年度 支払額	受注者	契約期間
青梅市リサイクルセンター 容器包装プラスチック 処理ライン設置工事	148,500	59,400	89,100	メタウォーター (株)営業本部 東京営業部	2.2.28～ 3.3.15